

— 令和2年度高知県学力定着状況調査結果の概要 —

令和3年3月
高知県教育委員会

— 目 次 —

1	調査の概要	2
2	本県の学力の状況	3
3	教育事務所別調査結果	4
4	教科別調査結果	
	教科別調査結果について	5
(1)	小学校国語	6
(2)	小学校算数	10
(3)	小学校理科	14
(4)	中学校国語	17
(5)	中学校社会	21
(6)	中学校数学	25
(7)	中学校理科	29
(8)	中学校外国語（英語）	33

令和2年度高知県学力定着状況調査の概要

I. 調査の目的

学力調査等の結果から明らかとなった学力についての課題の改善状況及び定着状況を把握し、学習指導の充実や指導方法の改善に生かすとともに、各学校及び教育委員会における継続的な学力向上のための検証改善サイクルを確立する。

II. 調査への参加状況

◇ 参加学校数

小学校 第4学年	184校	第5学年	185校
中学校 第1学年	101校	第2学年	102校
義務教育学校（前期課程・後期課程） 2校			

◇ 小学校解答児童数

第4学年

国語	4,960人	算数	4,961人
----	--------	----	--------

第5学年

国語	4,958人	算数	4,956人	理科	4,956人
----	--------	----	--------	----	--------

◇ 中学校解答生徒数

第1学年

国語	4,066人	社会	4,066人	数学	4,063人
理科	4,066人	外国語（英語）	4,062人		

第2学年

国語	4,172人	社会	4,171人	数学	4,173人
理科	4,169人	外国語（英語）	4,171人		

III. 調査事項

(1) 教科

小学校第4学年…国語・算数

小学校第5学年…国語・算数・理科

中学校第1・2学年…国語・社会・数学・理科・外国語（英語）

※国語と外国語（英語）は、音声を聞いて答える問題も出題

(2) 内容

主として「知識」に関する問題及び「活用」に関する問題

選択式・短答式・記述式の問題形式

IV. 調査実施期間

令和2年12月8日（火）～12月10日（木）



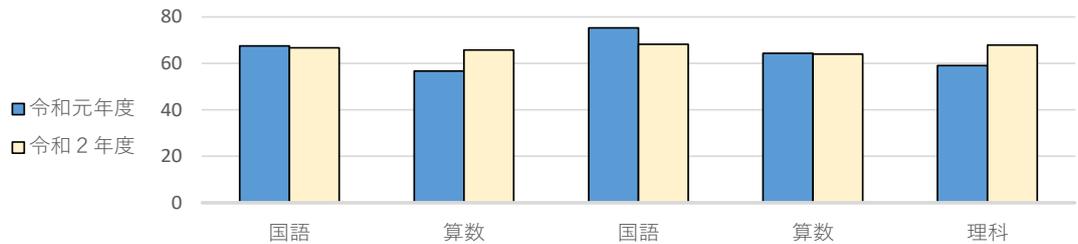
2 本県の学力の状況

学力調査結果に見られる本県の学力の状況

高知県学力定着状況調査結果

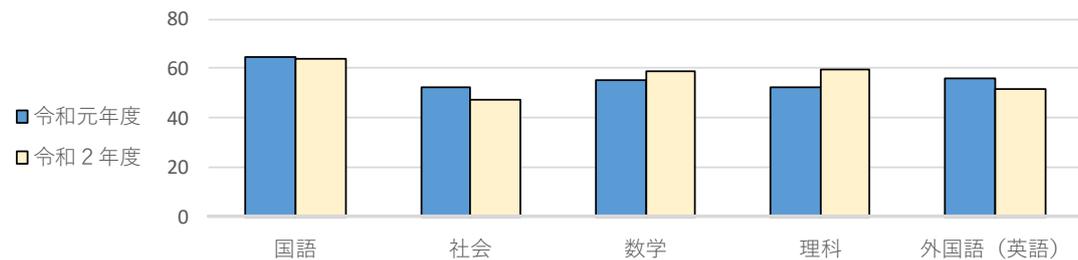
小学校

学年		小学校第4学年		小学校第5学年		
教科		国語	算数	国語	算数	理科
正答率 (%)	令和元年度	67.5	56.7	75.3	64.3	59.1
	令和2年度	66.7	65.8	68.2	64.0	67.9

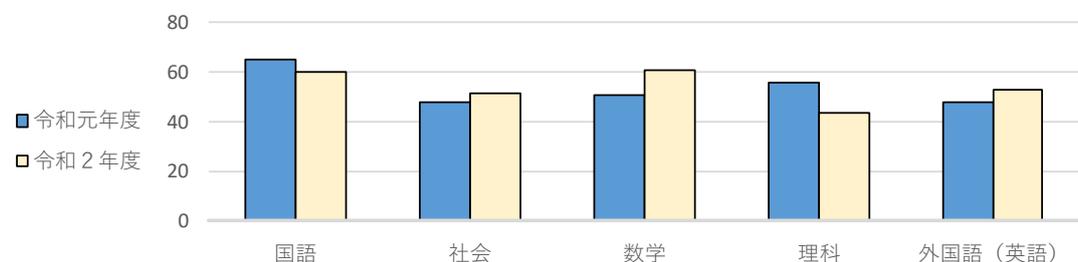


中学校

学年		中学校第1学年				
教科		国語	社会	数学	理科	外国語(英語)
正答率 (%)	令和元年度	64.4	52.6	54.9	52.5	56.2
	令和2年度	64.2	47.6	58.5	59.9	51.3



学年		中学校第2学年				
教科		国語	社会	数学	理科	外国語(英語)
正答率 (%)	令和元年度	65.2	47.7	50.5	55.8	47.5
	令和2年度	59.8	51.3	60.5	43.6	52.9

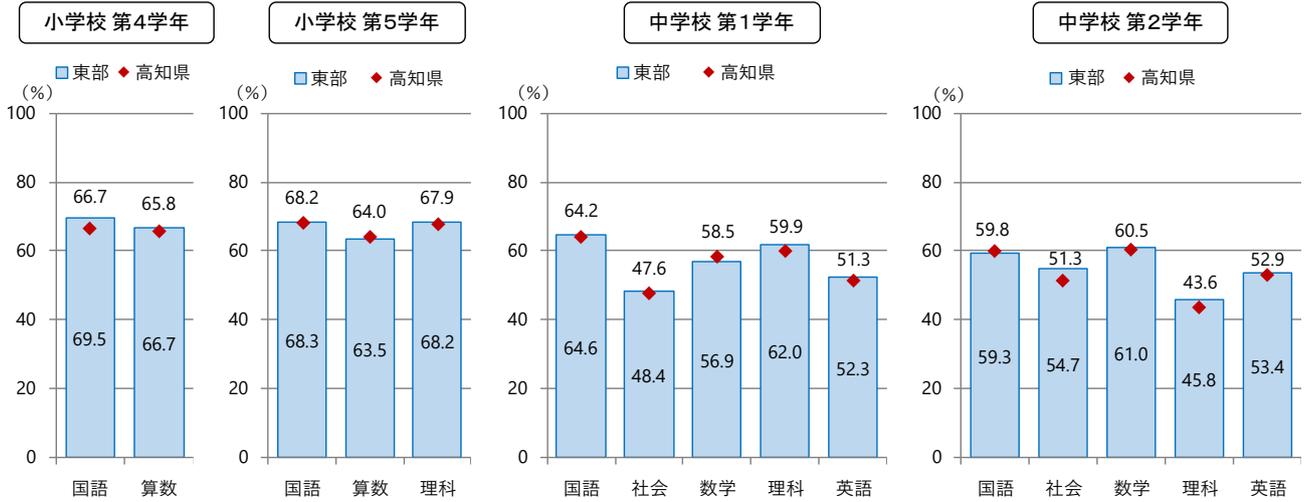


現状

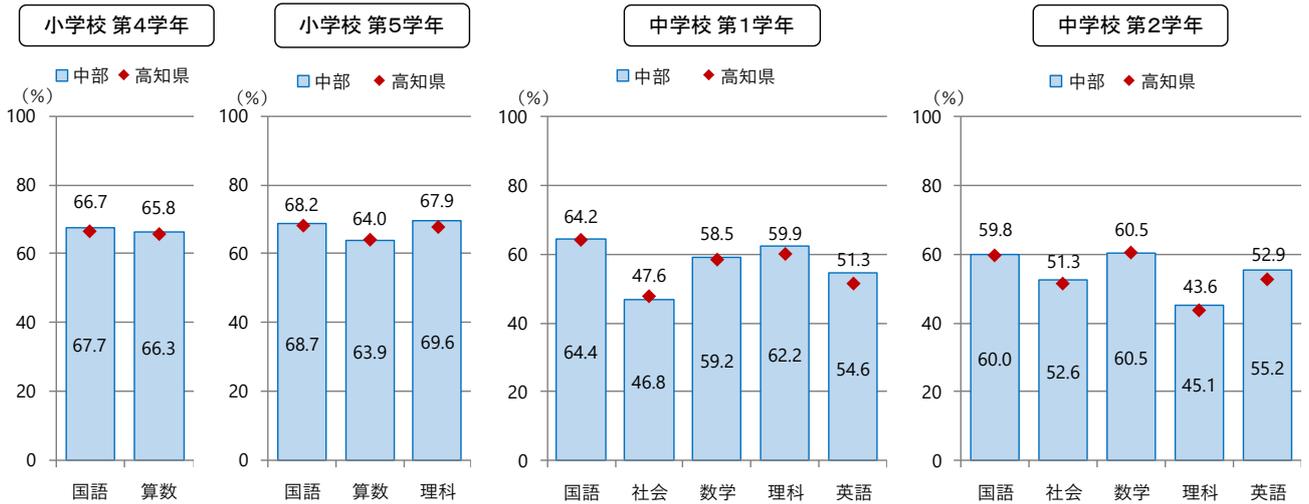
- 小中学校ともに、多くの教科で前年度と同等もしくは、それ以上の平均正答率となっている。
- 課題であった図、表、グラフ等から必要な情報を読み取ることについて改善傾向が見られる。
- 目的に応じて複数の情報から正しい情報を根拠として読み取り、原因や結果を説明したり、解決方法の構想を立てたりすることに課題が見られる。

3 教育事務所別調査結果

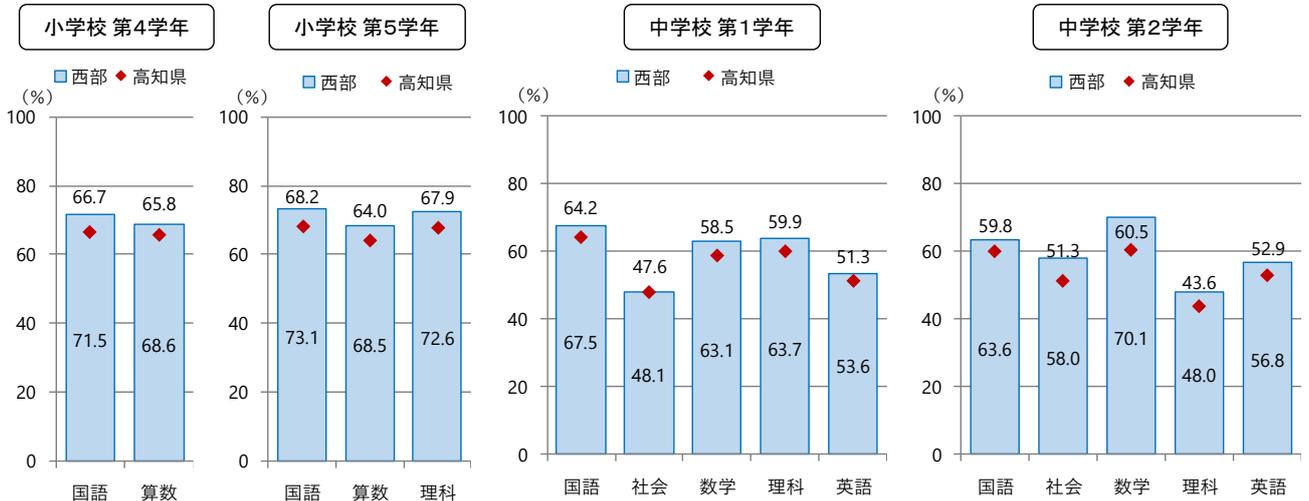
東部教育事務所



中部教育事務所



西部教育事務所



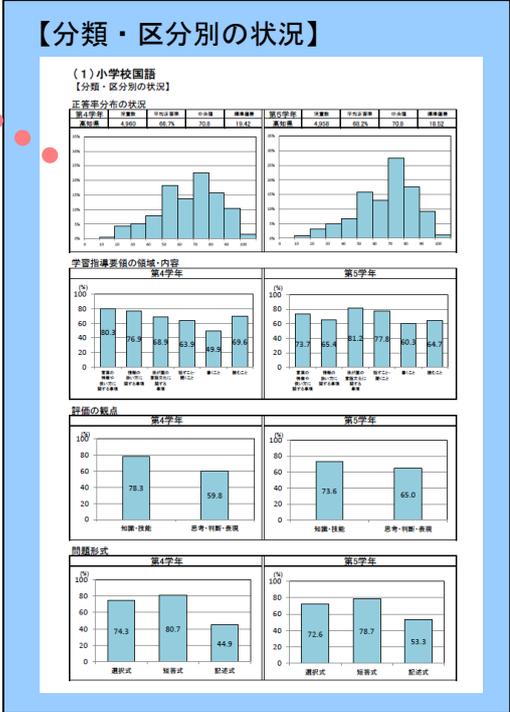
4 教科別調査結果

教科別調査結果について

今回の調査結果における高知県の状況について、各教科の【分類・区分別の状況】、【成果と課題】、【設問別正答率】を示していますので、各学校の分析にご活用ください。

上から正答率分布、領域・内容、評価の観点、問題形式による平均正答率をグラフで示しています。

平均正答率やグラフの形状、他の数値の情報と合わせて分析してください。



【成果と課題】

令和2年度 高知県学力定着状況調査 小学校国語科

成果・改善が見られる問題

第4学年 正答率 80.5%
問題番号 (4)
問題の内容 国語科で「おはな」を調べたときの言葉として、適切なものを選ぶ。
出題のねらい 国語科の使い方を理解している。

第5学年 正答率 88.7%
問題番号 (5)
問題の内容 漢字の意味を考えながら、同音異義語を正しく書く。
出題のねらい 同じ読み方の漢字を文章の中で正しく使い分けられている。

課題が見られる問題

第4学年 正答率 54.9%
問題番号 (3)
問題の内容 似た字を並べたこととして、適切なものを選ぶ。
出題のねらい 登場人物の行動や気持ちについて、叙述を基に読んでいる。

第5学年 正答率 53.1%
問題番号 (1)
問題の内容 文から抜けている言葉が当てはまる場所として、適切な文の番号を選ぶ。
出題のねらい 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に読んでいる。

読む目的や手立てを明確にした指導の充実

分析・考察 物語文（文学的文章）を読み、叙述や描写などの言葉を手がかりとして登場人物の気持ちや心構えなどを理解することを通して、このことわざ、登場人物の気持ちや心構えを適切に読み取る指導や、結果が読者のまなこ、気持ちや心構えを読み取る指導がなされていると考えられる。

学習指導に当たって 叙述や描写などの言葉を基に登場人物との関係や気持ち、心構えを読み取ることは、物語文の読みの手立てを明確にした指導が必要である。例えば、物語文を読み解くために「読むこと」を交差する学習が必要である。また、手立てとして「物語文を読み解く（登場人物の気持ちや心構えを読み取る）」という目的を明確にすることで、物語文の読みの手立てを明確にした指導がなされていると考えられる。

本年度の調査結果を受け、指導方法の改善を図る際のポイントを示しています。上段は、「成果・改善が見られる問題」について、下段は、「課題が見られる問題」についての分析・考察、学習指導に当たってのポイントを、それぞれ示しています。

【設問別正答率】

令和2年度 高知県学力定着状況調査 設問別正答率（小学校国語科）

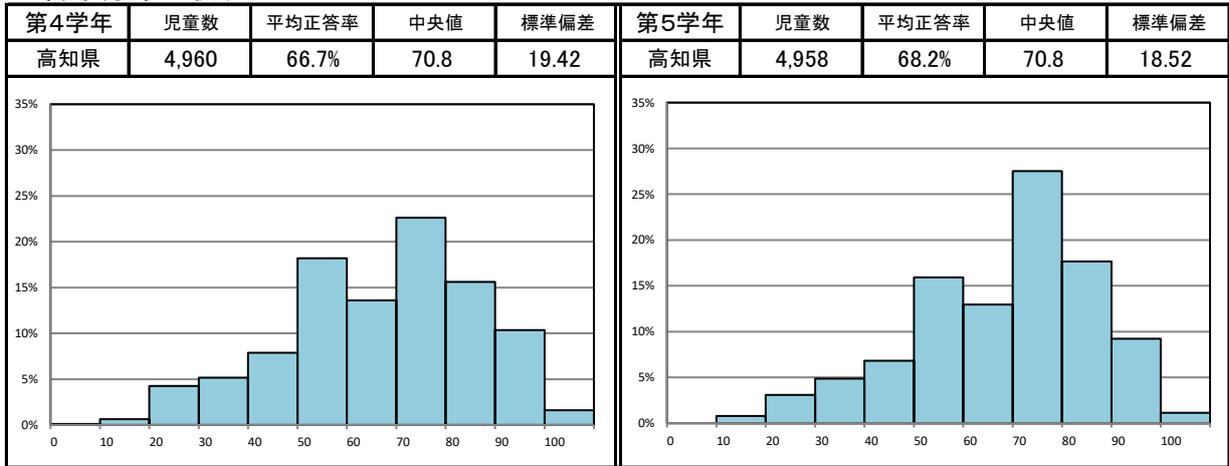
学年	問題番号	問題内容	4年生				5年生			
			正答率	標準	正答率	標準				
国語	1	「おはな」の読みかたを、適切なものを選びなさい。	80.5	80	88.7	89				
	2	「おはな」の読みかたを、適切なものを選びなさい。	80.5	80	88.7	89				
	3	似た字を並べたこととして、適切なものを2つ選びなさい。	54.9	55	53.1	53				
	4	漢字の意味を考えながら、同音異義語を正しく書きなさい。	80.5	80	88.7	89				
	5	同じ読み方の漢字を文章の中で正しく使い分けなさい。	80.5	80	88.7	89				
	6	登場人物の行動や気持ちについて、叙述を基に読んでいる。	54.9	55	53.1	53				
	7	文から抜けている言葉が当てはまる場所として、適切な文の番号を選びなさい。	54.9	55	53.1	53				
	8	登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に読んでいる。	54.9	55	53.1	53				
	9	物語文の読みの手立てを明確にした指導がなされている。	54.9	55	53.1	53				
	10	物語文の読みの手立てを明確にした指導がなされている。	54.9	55	53.1	53				

設問ごとに、高知県の正答率と無解答率を示しています。

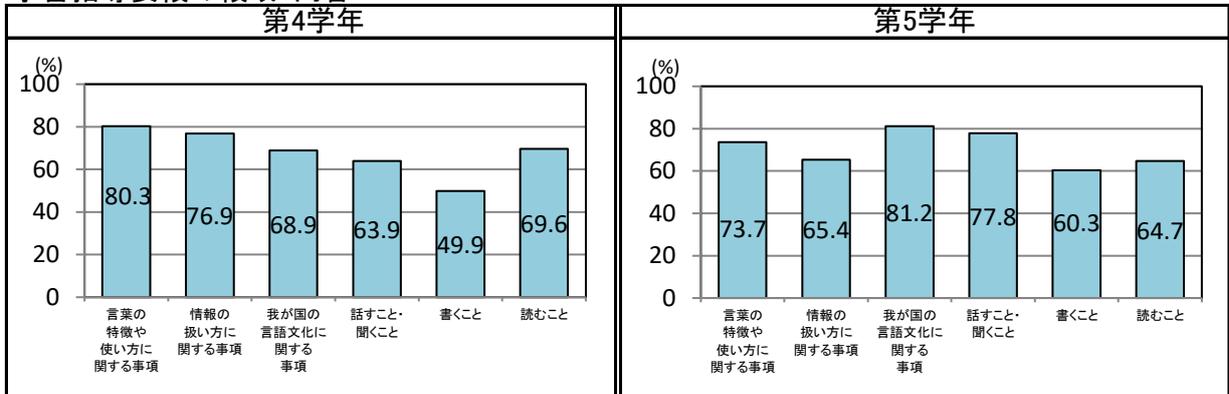


【分類・区別の状況】

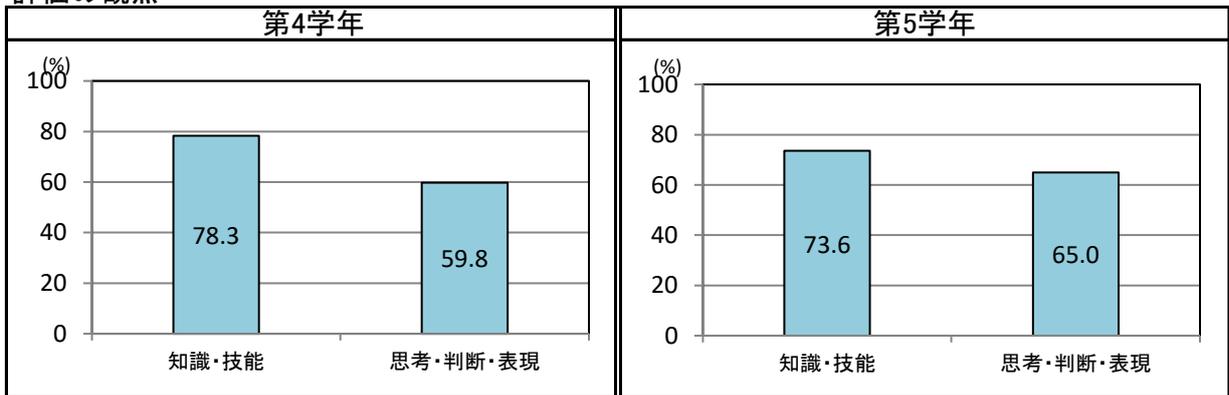
正答率分布の状況



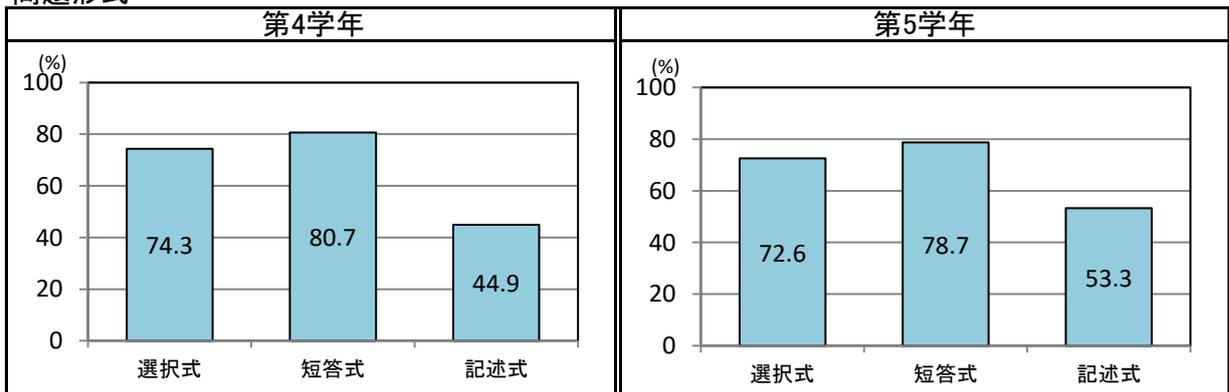
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式





成果・改善が見られる問題

第4学年 ■問題番号 3 (4) ② ■問題の内容 国語辞典で「おろした」を調べるときの言葉として、適切なものを選ぶ。 ■出題のねらい 国語辞典の使い方を理解している。	正答率 80.5%	第5学年 ■問題番号 3 (5) ■問題の内容 漢字の意味を考えながら、同音異義語を正しく書く。 ■出題のねらい 同じ読み方の漢字を文章の中で正しく使い分けしている。	正答率 88.7%
---	-----------	--	-----------



日常生活で生きて働く「言葉」の習得

○分析・考察

漢字のもつ意味を考えながら正しく文章の中で使うことや、漢字辞典を活用して言葉の意味や使い方を調べることに改善傾向が見られる。このことから、国語科の授業だけでなく日常生活の中でも漢字を意図的に使う場面を設定したり、他教科等でも積極的に国語辞典を使ったりする活動が行われていることがうかがえる。

○学習指導に当たって

漢字のもつ意味を理解し、文脈に合わせて適切に漢字を使うことや、辞書や辞典の引き方を理解して使うことができるようにするには、日常生活での活用場面を意識して言語活動を設定することが大切である。

例えば、ポスターづくり等の言語活動では、「さんかたいしょう」の漢字を国語辞典を使って調べながら「対象」「対照」「対称」などの同音異義語を比較し、使い分けを考えさせる学習場面を意図的に仕組むことが考えられる。また、国語辞典だけでなく、漢字辞典も積極的に活用し、語彙を増やしていくことも生きて働く言葉の習得には効果的である。



課題が見られる問題

第4学年 ■問題番号 4 (3) ■問題の内容 健太が腹を立てたこととして、適切なものを選ぶ。 ■出題のねらい 登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。	正答率 54.9%	第5学年 ■問題番号 4 (1) ■問題の内容 文章からぬけている言葉があてはまる場所として、適切なところを選ぶ。 ■出題のねらい 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。	正答率 53.1%
--	-----------	---	-----------



読む目的や手立てを明確にした指導の充実

○分析・考察

物語文（文学的な文章）を読み、叙述や描写などの言葉を手がかりにして登場人物の気持ち等を読み取ることに課題が見られる。このことから、登場人物の気持ち等を読み取る授業では、時間や場面毎に区切って読み取る指導や、根拠が曖昧なまま、気持ち等を読み取る指導がなされていると考えられる。

○学習指導に当たって

叙述や描写など、文中の言葉を根拠に登場人物の関係や気持ち等を捉え、自分の考えをまとめられるようにするには、物語文を読む目的や手立てを明確にした指導が必要である。

例えば、物語文を読んで強く心に残ったことを交流する学習では、まず、「交流することで読みを深める」という目的を全体で確認する。次に、手立てとして物語文を読む視点（会話・行動・情景等）を示し、人物の気持ち等が表れている言葉に着目させる。その後、物語全体から読み取った人物相互の関係を図に整理して、心に残ったことを友達と交流する中で自分の考えをまとめるといった言語活動の設定が効果的である。

令和2年度高知県学力定着状況調査 設問別正答率 [小学校国語4年]

問題番号			問題の内容	出題のねらい	学習指導要領との関連					評価の観点			問題形式		高知県	
通し番号	大問	小問			言葉の特徴や使い方に 関する事項	情報の扱い方に 関する事項	我が国の言語文化に 関する事項	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式	正答率 (%)
1		(1)	山田さんの話し方の工夫として、適切なものを選ぶ。	話の中心を明確にするための話し手の工夫を捉えている。				○			○	○		92.5	0.2	
2	1	(2)	木下さんの意見として、適切なものを選ぶ。	話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉えている。				○			○	○		97.9	0.2	
3		(3)	野口さんの発言にあてはまる言葉を書く。	話し手が伝えたいことの内容を捉え、自分の考えをもっている。				○			○		○	40.0	4.2	
4	2	1	漢字を読む。(花の種類を調べる。)	当該学年までに配当されている漢字を正しく読んでいる。	○					○		○		97.3	0.6	
5		2	漢字を読む。(おかずの量がとて多い。)	当該学年までに配当されている漢字を正しく読んでいる。	○					○		○		98.6	0.4	
6		1	漢字を書く。(新しい <u>びょういん</u> ができる。)	前学年までに配当されている漢字を正しく書いている。	○					○		○		55.9	7.9	
7		2	漢字を書く。(かどを右に <u>まがる</u> 。)	前学年までに配当されている漢字を正しく書いている。	○					○		○		70.7	5.9	
8		(1)	文の述語として適切なものを選ぶ。	述語について理解している。	○					○	○			68.3	0.1	
9		(2)	様子を表すことわざとして適切なものを選ぶ。	ことわざについて理解している。			○			○	○			68.9	0.8	
10	3	(3)	指示語の使い方として適切なものを選ぶ。	指示語の使い方を理解している。	○					○	○			90.9	0.4	
11	4	①	国語辞典で「ようふく」より前にのっている言葉を選ぶ。	国語辞典の使い方を理解している。	○					○	○			73.3	0.7	
12		②	国語辞典で「おろした」を調べるときの言葉として、適切なものを選ぶ。	国語辞典の使い方を理解している。	○					○	○			80.5	0.7	
13	4	(1)	「聞きなれた声」が誰の声なのか、適切なものを選ぶ。	登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。					○		○	○		84.8	0.4	
14		(2)	チー坊がおかしいと思った健太の様子として、適切なものを選ぶ。	登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。						○		○	○	58.3	0.4	
15		(3)	健太が腹を立てたこととして、適切なものを選ぶ。	登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。						○		○	○	54.9	0.8	
16		(4)	健太の気持ちの変化をまとめた言葉として、適切なものを選ぶ。	登場人物の気持ちの変化について、具体的に想像している。						○		○	○	80.3	0.7	
17	5	(1)	高山さんの発表内容と発表方法として、適切なものを選ぶ。	相手にわかりやすく伝えるための発表の工夫を捉えている。					○		○	○		58.7	0.6	
18		(2)	資料の内容をもとに、発表原稿にあてはまる言葉を書く。	資料を基にして、発表原稿に具体的な情報を伝える内容を書き加えている。						○		○	○	30.3	3.9	
19	6	(1)	【話し合い】にあてはまる言葉として、適切なものを選ぶ。	相手や目的を意識した表現になっているかを確認している。					○		○	○		56.0	1.6	
20		(2)	【話し合い】をもとに、【お知らせの案】にあてはまる文を書く。	相手や目的を意識した表現になっているかを確認している。						○		○	○	40.4	6.4	
21			2段落構成で書く。	段落相互の関係などに注意して文章を構成している。					○		○		○	55.4	11.5	
22	7		取材メモをもとに、大山さんが最近読んだ本の書名と作者と内容を書く。	内容の中心を明確にして書いている。					○		○	○		42.3	11.5	
23			大山さんの感想と、図書係としてクラスの人に大山さんが読んだ本をすすめる言葉を書く。	取材メモを基に、自分の考えを書いている。						○		○	○	41.7	11.5	
24			121字から180字の間で書く。	指定された文字数で文章を書いている。					○		○	○		63.8	11.5	

令和2年度高知県学力定着状況調査 設問別正答率 [小学校国語5年]

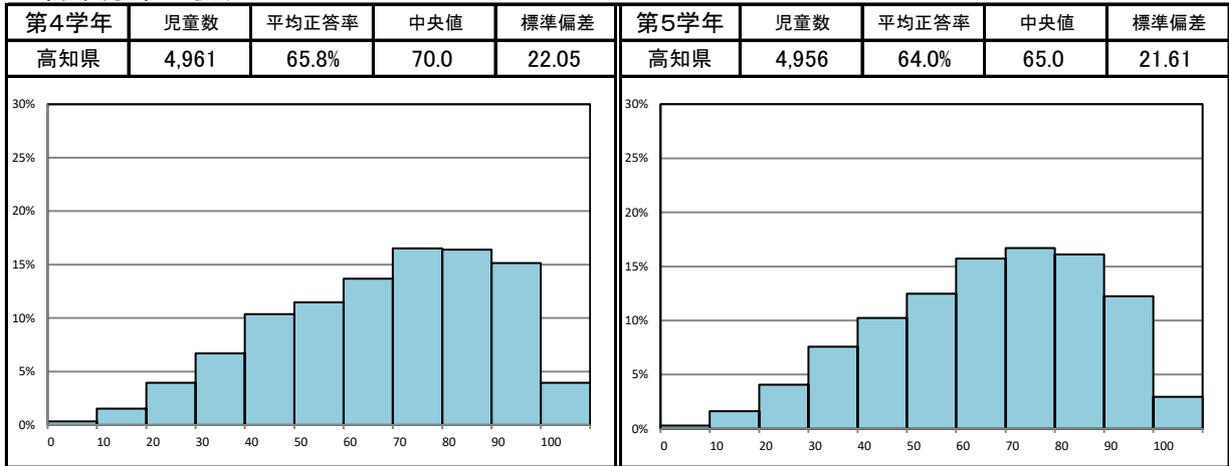
問題番号	大問	小問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領との関連					評価の観点			問題形式		高知県	
					言葉の特徴や使い方に 関する事項	情報の扱い方に 関する事項	我が国の言語文化に 関する事項	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式	正答率(%)
1		(1)	山下さんの意見として、適切なものを選ぶ。	話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えている。				○			○	○			94.3	0.0
2	1	(2)	山下さんの話し方の工夫として、適切なものを選ぶ。	話の内容を明確にするための話し手の工夫を捉えている。				○			○	○			89.2	0.1
3		(3)	宮田さんの提案のもととなった山下さんの理由を書く。	話し手の考えをふまえて自分の考えをまとめている。				○			○		○		49.8	6.8
4	2	1	漢字を読む。(学校と家の間を往復する。)	当該学年までに配当されている漢字を正しく読んでいる。	○						○		○		91.5	0.8
5		2	漢字を読む。(風と寒さを防ぐ。)	当該学年までに配当されている漢字を正しく読んでいる。	○						○		○		94.2	0.2
6		1	漢字を書く。(えいようのある食事を考える。)	前学年までに配当されている漢字を正しく書いている。	○						○		○		59.4	10.0
7		2	漢字を書く。(シャワーをあびる。)	前学年までに配当されている漢字を正しく書いている。	○						○		○		59.8	11.0
8		(1)	被修飾語として適切なものを選ぶ。	連用修飾語について理解している。	○						○		○		37.4	0.2
9		(2)	敬語の使い方として適切なものを選ぶ。	敬語について理解している。	○						○		○		85.2	0.2
10	3	(3)	慣用句の使い方として適切なものを選ぶ。	慣用句について理解している。			○				○		○		81.2	0.4
11		(4)	漢字辞典の使い方として適切なものを選ぶ。	漢字辞典の使い方を理解している。		○					○		○		65.4	1.4
12		(5)	漢字の意味を考えながら、同音異義語を正しく書く。	同じ読み方の漢字を文章の中で正しく使い分けている。	○						○		○		88.7	2.8
13	4	(1)	文章からめけている言葉があてはまる場所として、適切なところを選ぶ。	登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。							○		○	○	53.1	1.0
14		(2)	「来るべきときが来た」の意味として、適切なものを選ぶ。	登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。							○		○	○	57.0	0.4
15		(3)	「おれ」が「よかった」と思った内容として、適切なものを選ぶ。	登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。							○		○	○	72.8	0.6
16		(4)	げきのせりふの言い方として、適切なものを選ぶ。	登場人物の心情や様子について、具体的に想像している。							○		○	○	75.9	0.8
17	5	(1)	【ポスター】の工夫として、適切なものを選ぶ。	筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開の工夫を捉えている。							○		○	○	76.3	0.7
18		(2)	【図書室の先生へのインタビュー】をもとに、【ポスター】のAにあてはまる文を書く。	インタビューを通じて得た情報を、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしている。							○		○	○	37.1	4.9
19	6	(1)	【はり紙の案】の工夫として、適切なものを選ぶ。	引用したり、図表を用いたりして、自分の考えが伝わるような書き表し方の工夫を捉えている。							○		○	○	83.3	1.3
20		(2)	【はり紙の案】の内容をもとに、手の洗い方を説明する文章にあてはまる文を書く。	引用したり、図表を用いたりして、自分の考えが伝わるような書き表し方の工夫を捉えている。							○		○	○	42.4	4.1
21	7		2段落構成で書く。	段落相互の関係などに注意して文章を構成している。							○		○	○	75.2	9.9
22			アンケートの調査結果から読み取ったことを書く。	資料から読み取った事実を、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしている。							○		○	○	62.2	9.9
23			アンケートの調査結果をもとに、図書室の利用者を増やす方法を考えて書く。	資料を基に考えた自分の意見を、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしている。							○		○	○	28.9	9.9
24				121字から180字の間で書く。	指定された文字数で文章を書いている。							○		○	○	77.1



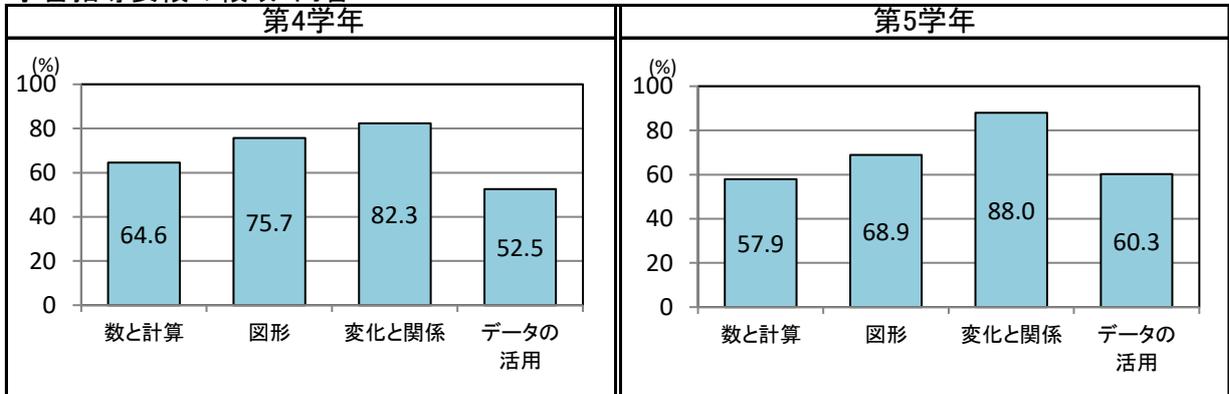
(2) 令和2年度 高知県学力定着状況調査 小学校算数

【分類・区別の状況】

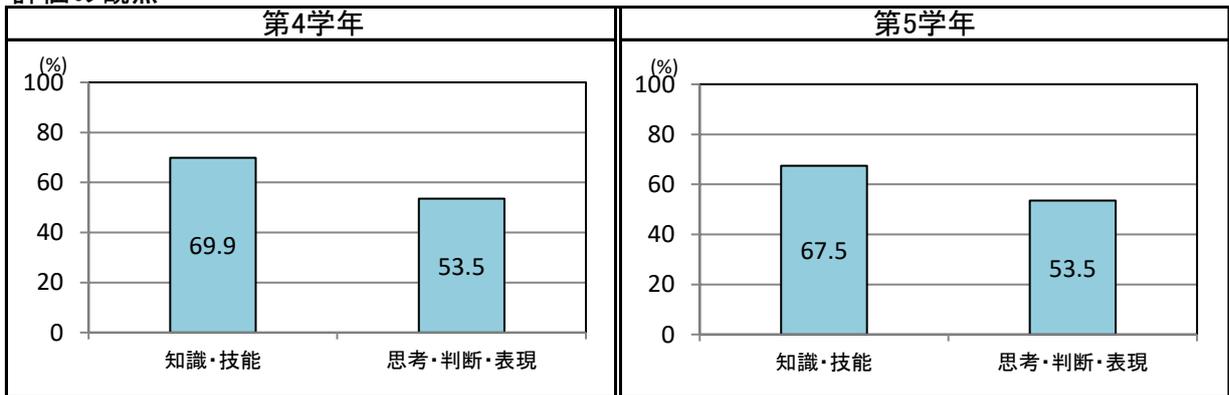
正答率分布の状況



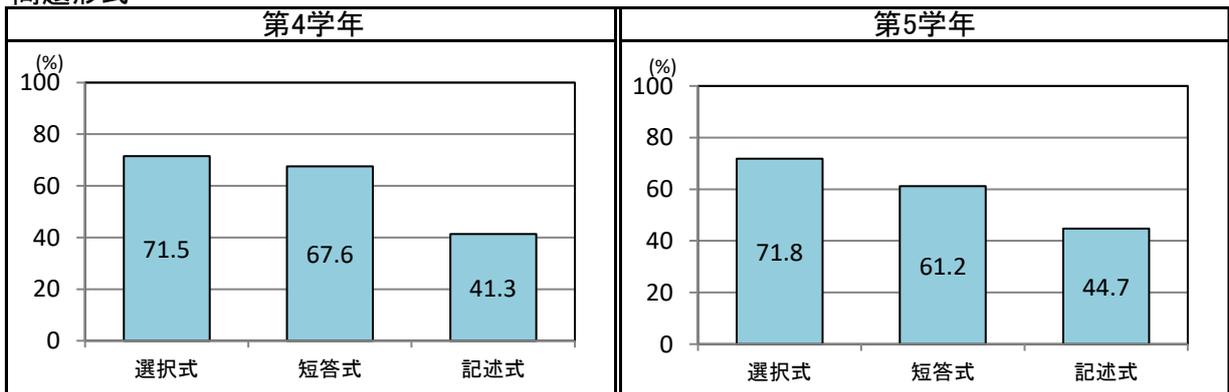
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式





成果・改善が見られる問題

第4学年

正答率 83.9%

■問題番号 8 (1)

■問題の内容

ほのかさんの体重が、弟の体重の4倍で32kgのとき、弟の体重を□kgとしたときの正しい図を選ぶ。

■出題のねらい

場面と図とを関連付けて、2つの数量の関係を理解している。

第5学年

正答率 74.3%

■問題番号 5 (1)

■問題の内容

0.4mの重さが0.6kgの鉄パイプの1mの重さを□kgとして表した図を選ぶ。

■出題のねらい

場面と図とを関連付けて、2つの数量の関係を理解している。



数学的な表現方法を用いた学習活動の充実

○分析・考察

場面と図とを関連付けて、2つの数量の関係を理解することについては、改善傾向が見られる。このことから、図や数直線等を用いて2つの数量の関係を正しく捉える学習活動が日常的に行われるようになってきていることがうかがえる。

○学習指導に当たって

「問題場面における数量の関係を理解する」、「数量の関係を図や数直線などに表す」、「図や数直線などを基に立式して計算の意味を確認する」といった一連の活動を繰り返し設定して、計算の意味の理解を基に演算決定ができるようにすることが大切である。

そのため、例えば、乗法や除法の問題場面を複数提示し、どういった場面を表しているのかを図や数直線に表すことで明確にし、立式する活動を取り入れることが考えられる。



課題が見られる問題

第4学年

正答率 31.3%

■問題番号 11 (2)

■問題の内容

折れ線グラフの縦軸の方眼の1目盛りを2gにしたときに、グラフをかくことができないわけを書く。

■出題のねらい

折れ線グラフの折れ線を枠の中に表せなくなるところを、枠の最大値と資料の数量の大きさを比べて見つけ、その理由を説明することができる。

第5学年

正答率 16.7%

■問題番号 14 (2)

■問題の内容

胸飾りを80個作る時、リボンの代金をできるだけ安くする買い方を説明する。

■出題のねらい

問題の場面を理解し、小数の計算を使っていちばん安くなる理由を説明することができる。



日常の事象から算数の問題を見だし、問題を解決する過程の充実

○分析・考察

導いた答えや結論が正しい理由を説明したり、批判的に考察したりすることに課題が見られる。このことから、単なるデータの読み取りで終わり、グラフ等に表して導いた結論が、これで正しいのかという視点で、振り返ったり考察したりする学習活動が十分でないことが考えられる。

○学習指導に当たって

データの活用では、目的に応じて計画を立て、必要なデータを収集して処理し、そのデータの傾向を読み取って、批判的に考察し判断することを通して、統計的に問題解決する活動を充実させていくことが必要である。

例えば、目的に応じて数量の大小に着目したり、差に着目したりして考察することが考えられる。また、読み取った資料の特徴や傾向などを分かりやすく伝えるためには、新たなグラフ等に表し直すことも効果的である。

○分析・考察

リボンの長さや値段などの数量を関係付け根拠を明確にして計算の仕方を説明することに課題が見られる。このことから、単に立式して答えを出す傾向が強く、問題を解決する過程で、演算決定の根拠を検討する場面が少なく、式の意味を説明する学習活動が十分でないことが考えられる。

○学習指導に当たって

数量の関係を考察し、見いだした数量の関係を式や言葉を用いて表現する活動を充実させていくことが必要である。

例えば、自分の考えや解決方法を記述させたうえで、友達や先生の考えや解決方法を聞いて比べる活動が考えられる。友達や先生の考えと比較・関連付けながら自分の考えを修正することで、学習の過程や自身の学びを振り返ることができ、よりよく問題解決できたことを実感できるため効果的である。

令和2年度高知県学力定着状況調査 設問別正答率 [小学校算数4年]

問題番号	大問	小問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領との関連				評価の観点			問題形式		高知県		
					数と計算	図形	変化と関係	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	
1	(1)		7.04を10倍した数について、正しいものを選ぶ。	数の相対的な大きさについて理解している。	○				○		○				75.3	0.1
2	(2)		3.09kmをmで表したのについて、正しいものを選ぶ。	小数を用いた長さの単位変換ができる。	○				○		○				43.5	0.1
3	(3)		7億2000万は、1000万を何個集めたものかについて、正しいものを選ぶ。	大きい数の相対的な大きさを理解している。	○				○		○				67.6	0.1
4	(4)		数直線で、矢印が表す数として正しいものを選ぶ。	数直線上に示された数を読み取ることができる。	○				○		○				81.7	0.1
5	2		$(140+60) \times 4$ で答えが求められる問題を選ぶ。	$()$ を用いた式の意味について読み取ることができる。	○				○		○				63.4	0.1
6	3		97×6 を分配法則を用いて計算したときの途中式を選ぶ。	分配法則を理解している。	○				○		○				64.7	0.2
7	(1)		十の位を四捨五入して1800になる数について、1840より大きい数を選び、その範囲を表すときに用いる言葉を書く。	概数に対応する数の範囲を理解している。	○				○			○			54.6	0.5
8	(2)		1745を四捨五入して概数で表したときに、2人が求めた概数が異なったわけを説明する。	四捨五入する位によって、概数で表した値が異なることを説明することができる。	○				○			○			48.9	8.7
9	(1)		円の半径を表している直線として正しいものを選ぶ。	円の半径について理解している。	○				○		○				61.1	0.3
10	(2)		箱の中に同じ大きさの球を入れたときの球の直径の長さについて、正しいものを選ぶ。	箱に入った球の直径を求めることができる。	○				○		○				79.0	0.3
11	(1)		示された角度の大きさを読み取る。	分度器の中に示された角の大きさを理解している。	○				○			○			78.7	0.2
12	(2)		2直線が交わってできる角の大きさとして正しいものを選ぶ。	角の性質がわかり、2直線が交わってできる角の大きさを求めることができる。	○				○		○				83.9	0.4
13	7		工夫したわり算の計算で使っている、わり算の性質を書く。	工夫したわり算で使っている、わり算の性質を説明することができる。	○				○			○			43.7	3.5
14	(1)		ほのかさんの体重が、弟の体重の4倍で32kgのとき、弟の体重を□kgとしたときの正しい図を選ぶ。	場面と図とを関連付けて、2つの数量の関係を理解している。	○		○		○		○				83.9	0.6
15	(2)		ほのかさんの体重が、弟の体重の4倍で32kgのとき、弟の体重を求める式を選ぶ。	もとにする量の求め方が、(比べる量)÷(もとにする量)になることを理解している。	○		○		○		○				82.7	1.0
16	9		ゆきさんの家の犬とけんさんの家の犬の体重の増え方について、差で比べたときと倍で比べたときに増え方が大きい方を書く。	数量の増え方を差で比べたり倍で比べたりすることができる。			○		○		○				80.3	1.8
17	10		二次元表を読み取り、海は好きだが、山は嫌いな人の人数を書く。	二次元表の読み方を理解している。				○	○			○			75.6	1.1
18	(1)		28日後のハムスターの体重が、産まれたときの体重の何倍になっているかを求める式と答えを書く。	倍の求め方が、(比べる量)÷(もとにする量)になることを理解している。	○				○			○			65.6	5.0
19	(2)		折れ線グラフの縦軸の方眼の1目盛りを2gにしたときに、グラフをかきことができないわけを書く。	折れ線グラフの折れ線を枠の中に表せなくなるところを、枠の最大値と資料の数量の大きさを比べて見つけ、その理由を説明することができる。				○	○				○		31.3	5.6
20	(3)		折れ線グラフについて、正しいことを書いているものを選ぶ。	折れ線グラフを正しく読み取ることができる。					○	○			○		50.5	5.7

令和2年度高知県学力定着状況調査 設問別正答率 [小学校算数5年]

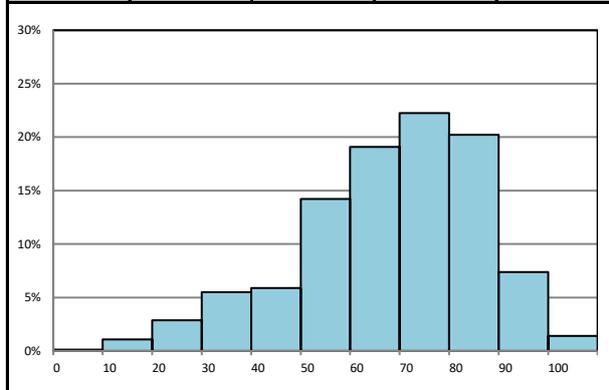
問題番号	大問	小問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領との関連				評価の観点			問題形式		高知県		
					数と計算	図形	変化と関係	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	
1	1	(1)	0.78を $\frac{1}{100}$ にした数について、正しいものを選ぶ。	数の相対的な大きさについて理解している。	○				○						78.7	0.1
2		(2)	帯分数、仮分数、小数を小さい方から順に並べたものを選ぶ。	分数と小数の大小比較を理解している。	○				○		○					44.7
3	2		9.7×12を分配法則を用いて計算したときの式にあてはまる数を書く。	小数の乗法において分配法則を利用した計算方法を理解している。	○				○			○			62.4	2.8
4	3		27.8÷6.3=4あまり2.6の検算の式にあてはまる数を選ぶ。	余りのある小数の除法の場面において、被除数を求める式について理解している。	○				○		○				77.1	0.1
5	4	(1)	球根を「赤、赤、赤、白」と植えていったときに、5番目の白の球根が左から何個目なのかを書く。	問題の場面を理解し、倍数の考え方を利用して、5番目の白の球根が左から何個目かを求めることができる。	○				○			○			74.0	2.2
6		(2)	球根を1列目に「赤、赤、赤、白」、2列目に「赤、赤、黄」と植えたとき、50個目まで植えると、白と黄の球根が縦に並ぶことが4回あるわけを説明する。	問題の場面を理解し、白と黄の球根が縦に4回並ぶ理由を説明することができる。	○				○			○			42.5	16.0
7	5	(1)	0.4mの重さが0.6kgの鉄パイプの1mの重さを□kgとして表した図を選ぶ。	場面と図とを関連付けて、2つの数量の関係を理解している。	○				○			○			74.3	0.4
8		(2)	0.4mの重さが0.6kgの鉄パイプの1mの重さを求める式を選ぶ。	1に当たる大きさを求めるために、除法が用いられることを理解している。	○				○			○			50.6	0.5
9	6		四角形ABCDに合同な四角形EFGHにおいて、角Fの大きさを選ぶ。	2つの合同な四角形について、対応する角を捉えることができる。	○				○			○			92.7	0.1
10	7		合同な三角形をかくことができない三角形をすべて選ぶ。	合同な三角形をかくために必要な条件を理解している。	○				○			○			42.8	1.7
11	8		六角形の6つの角の大きさの和を求めるための図から、式を選ぶ。	三角形の内角の和をもとに、六角形の内角の和を求めることができる。	○				○		○				75.0	0.3
12	9		1辺が3cmの立方体の体積として正しいものを選ぶ。	立方体の体積を求めることができる。	○				○			○			59.1	0.5
13	10		直方体を組み合わせた形の体積として正しいものを選ぶ。	直方体を組み合わせた形の体積を求めることができる。	○				○			○			74.8	0.8
14	11	(1)	縦5cm、横7cmの直方体の高さを変えるとき、高さを2倍、3倍、……にすると、体積がどのように変わるかを選ぶ。	比例の関係について理解している。			○		○			○			90.8	0.5
15		(2)	縦5cm、横7cmの直方体の高さを変えるとき、体積が280cm ³ になるときの高さを書く。	比例の関係について、一方の値から他方の値を求めることができる。			○		○			○			85.2	2.1
16	12		二次元表のある数がどのような人数を表しているのかを書く。	二次元表に表された数値の意味を説明することができる。				○		○		○			74.9	3.3
17	13	(1)	2つの折れ線グラフについて、正しいことを書いているものを選ぶ。	2つの折れ線グラフを正しく読み取ることができる。				○	○			○			64.3	1.7
18		(2)	2つの折れ線グラフから、京都市の気温が15度より低く、シドニーの気温の差が一番小さい月を書く。	2つの折れ線グラフを読み取り、条件にあった月を求めることができる。				○	○			○			41.6	2.1
19	14	(1)	90個の輪飾りを作るとき、紙テープが20mでたりるかどうかを調べた式が何を表しているのかを選ぶ。	問題の場面を理解し、乗法や除法の式の意味を解釈することができる。	○				○			○			58.3	2.7
20		(2)	胸飾りを80個作るとき、リボンの代金をできるだけ安くする買い方を説明する。	問題の場面を理解し、小数の計算を使っていちばん安くなる理由を説明することができる。	○				○			○			16.7	6.8



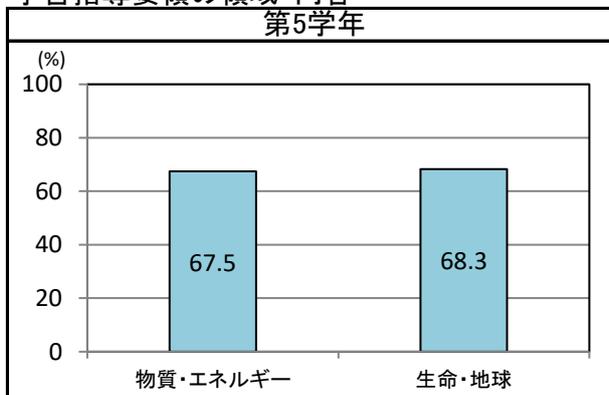
【分類・区分別の状況】

正答率分布の状況

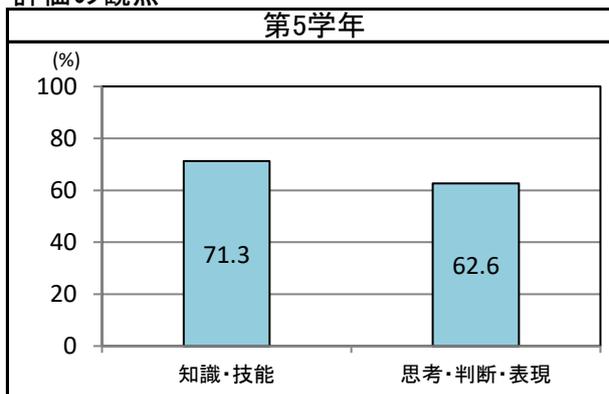
第5学年	児童数	平均正答率	中央値	標準偏差
高知県	4,956	67.9%	71.4	18.62



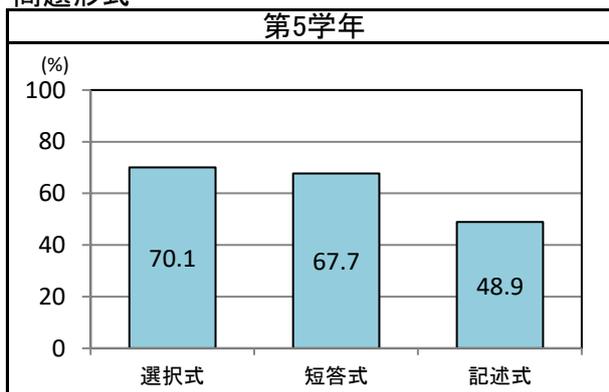
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式





成果・改善が見られる問題

第5学年

■問題番号 2 (2) ①

■問題の内容

実験の結果から、誰の予想が正しかったのか理由とともに説明する。

■出題のねらい

磁石の性質について、予想や実験から得られた結果を基に考察することができる。

正答率 37.6%



理由や根拠を明確にして表現する指導の充実

○分析・考察

自分の考えを、理由や根拠を明確にして表現することに改善傾向が見られる。このことから、理由や根拠を明らかにする場面を意図的に設定した授業が行われていることがうかがえる。

○学習指導に当たって

問題解決の過程において、理由や根拠を明確にして自分の考えを表現する場面としては「予想や仮説の設定」「考察」が考えられる。

その場面で、大切にすべきことが2つある。1つは児童の生活経験や既習の学習内容、観察・実験の結果など、どのようなことを児童が根拠とするのか、授業者は想定しておくこと、もう1つは、対話的な学びを通して、自分の考えをより妥当なものにすることが大切であることから、あらかじめ児童に自分の考えをもたせ、他者の考えと比較したり関係付けたりしながら、理由や根拠の確かさを検討する場面を設定することである。



課題が見られる問題

第5学年

■問題番号 6

■問題の内容

(1) 確かめたいことを調べるために、対照実験で比べるものを選ぶ。

(2) 対照実験を行うために、適切な方法を選ぶ。

■出題のねらい

植物の種子の発芽の様子を調べる実験について、条件を制御しながら構想することができる。

正答率 (1) 60.2%
(2) 38.3%



各学年で重点を置いて育成する問題解決の力や中心的に働かせる考え方を意識した指導の改善

○分析・考察

確かめたいことに対して、実験計画を構想することに課題がある。このことから、考えた条件で実験を行うためには、どうすればよいか、調べる方法を考える学習活動が十分ではないことが考えられる。

○学習指導に当たって

第5学年では「条件をそろえるという考え方を働かせて、予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力」を育成することが求められている。そのため、児童自らが見いだした問題から予想や仮説をもち、条件を制御しながら実験計画を構想することが大切である。

例えば、「インゲンマメの発芽には水が必要なのではないか」と予想した場合、水の有無のみを変えて、それ以外の条件は同じにしなければならぬ(右表)。このような条件制御の考え方を働かせて、実験計画を構想する。具体的には、水がある場合というのは、インゲンマメが水に沈んでいるものでも、水を含んだ綿の上に乗っているものでもよいのかどうか、どちらが条件制御ができていのかを、まずは個人で考え、次に他者と根拠を基に話し合うなどの活動を通して、より確かな解決方法にしていくことが重要である。

調べる条件	変える条件	変えない条件
水	水	適当な温度 空気、光等
空気	空気	適当な温度 水、光等
適当な温度	適当な温度	空気 水、光等

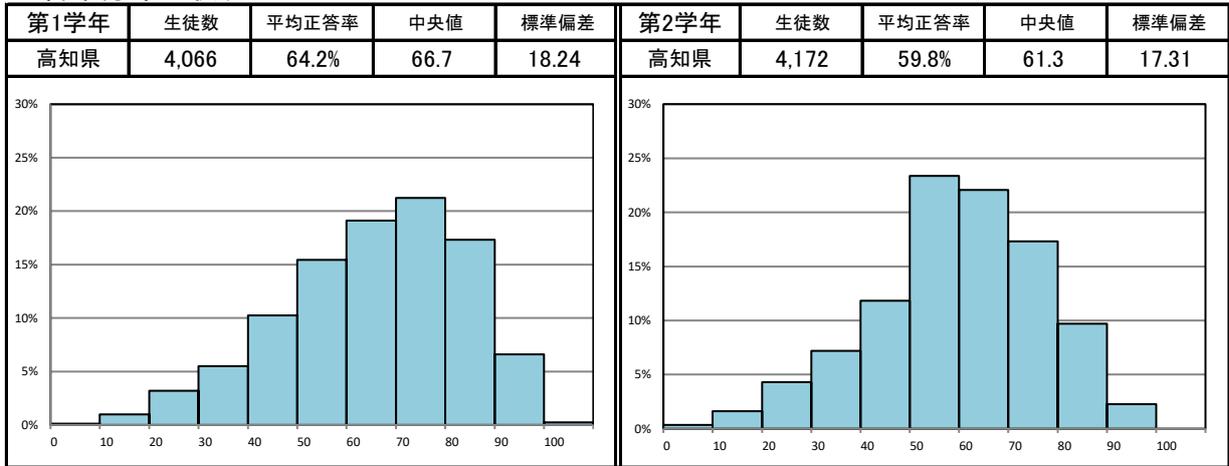
令和2年度高知県学力定着状況調査 設問別正答率 [小学校理科5年]

問題番号	通し番号	大問	小問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領との関連				評価の観			問題形式			高知県	
						エネルギー	粒子	生命	地球	思考・判断・表現	知識・技能	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	
1				① 風の強さが「中」のときの車の走る距離を選ぶ。	風の力の大きさによって車の走る様子がどう変わるかを推測することができる。	○				○	○				89.6	0.1	
2	1		(1)	② 風の強さと車の走る距離との関係として適切な説明を選ぶ。	実験の結果から、風の強さが強いほど車は速くまで走ることを理解している。	○				○	○				95.4	0.1	
3			(2)	わりばしでっぽうについて説明した文の空欄にあてはまる言葉を選ぶ。	ゴムの力の大きさによって物が動く様子がどう変わるかを推測することができる。	○				○	○				67.6	0.3	
4			(1)	磁石の性質を選ぶ。	磁石に引き付けられる物と引き付けられない物があることを理解している。	○				○	○				75.6	0.2	
5	2		(1)	① 実験の結果から、誰の予想が正しかったのか理由とともに説明する。	磁石の性質について、予想や実験から得られた結果を基に考察することができる。	○				○		○			37.6	2.1	
6			(2)	② 方位磁針の針がどの方位で止まるかを選ぶ。	地球の極を基に、自由に動く磁石はN極が必ず北を向いて止まることを理解している。	○				○	○				65.1	2.1	
7			(1)	直列つなぎという言葉を書く。	直列つなぎについて理解している。	○				○	○				57.9	5.7	
8	3		(2)	扇風機が逆向きに回るものと、速く回るものを選ぶ。	乾電池の数やつなぎ方を変えると、モーターの回り方が変わることを指摘することができる。	○				○		○			55.4	1.2	
9			(3)	乾電池を表す電気用図記号を選ぶ。	乾電池を表す電気用図記号を理解している。	○				○	○				58.4	0.4	
10			(1)	うずらのゆでたまごがペットボトルに吸い込まれた理由を選ぶ。	ペットボトルの中の空気が温められたり冷やされたりすることで、空気の体積が変化することを捉えることができる。	○				○					54.9	0.2	
11	4		(2)	実験の結果から、温度による水の体積変化についていえることを選ぶ。	温度による水の体積変化について理解している。	○				○	○				82.7	0.2	
12			(3)	空気、水、金属の並び方で温度による体積変化が大きいものから順に並んだものを選ぶ。	温度による空気、水、金属の体積変化には程度に違いがあることについて理解している。	○				○	○				54.7	0.4	
13			(1)	あたためられた空気の動き方を選ぶ。	あたためられた空気の動き方を理解している。	○				○	○				65.5	0.3	
14	5		(2)	水槽のヒーターの適切な取り付け位置を選ぶ。	水を熱したときの熱の伝わり方を、水槽のヒーターを適切な位置に取り付けることに適用することができる。	○				○	○				67.3	0.3	
15			(3)	ろうをぬったU字型の金属板をあたためたとき、ろうがとける順に記号を並べる。	金属は熱せられた部分から順に温まることを理解している。	○				○	○				85.1	0.7	
16	6		(1)	確かめたいことを調べるために、対照実験で比べるものを選ぶ。	植物の種子の発芽の様子を調べる実験について、条件を制御しながら構想することができる。			○		○		○			60.2	0.5	
17			(2)	対照実験を行うために、適切な方法を選ぶ。	植物の種子の発芽の様子を調べる実験について、条件を制御しながら構想することができる。			○		○		○			38.3	0.9	
18	7		(1)	天気を決め方で正しいものを選ぶ。	天気を決め方について理解している。				○	○	○				47.4	0.4	
19			(2)	アメダスの雨量情報から、そのときの雲画像を選ぶ。	雨量情報と、そのときの雲画像を関連付けて推測することができる。				○	○	○				86.6	0.5	
20			(1)	雲画像で台風が進んだ順に並んだものを選ぶ。	台風の動き方を選ぶことができる。				○	○	○				85.0	0.6	
21	8		(2)	台風が近づいたときの風や雨のようすについて、あてはまる言葉を書く。	台風がもたらす降雨等について理解している。				○	○	○				87.1	2.1	
22			(3)	台風が近づいてきているときの行動として不適切なものを選ぶ。	台風が近づいてくるときの誤った行動を指摘することができる。				○	○	○				92.8	0.8	
23			(1)	めすのメダカの背びれと尻びれのようすとして正しい組み合わせを選ぶ。	メダカの雌雄を見分ける方法を理解している。				○	○	○				49.9	1.1	
24	9		(2)	受精卵は卵と何が結び付いたものか書く。	受精卵について理解している。				○	○	○				74.8	4.1	
25			(3)	孵化する前のメダカと孵化した直後のメダカの養分の取り方を選ぶ。	孵化する前のメダカと孵化したばかりのメダカが、それぞれどのような養分を使って育つか理解している。				○	○	○				78.5	1.4	
26			(1)	手触りからヘチマの雄花か雌花かを指摘し、触れたときについた黄色い粉が何か書く。	雌花のようすと花粉について理解している。				○	○	○				55.8	2.9	
27	10		(1)	① 対照実験で適切な操作を選ぶ。	植物の受粉と結実の関係を調べる実験を構想することができる。				○	○	○				70.8	2.2	
28			(2)	② 次の日に咲きそうな雌花にふくろをかぶせる理由を説明する。	次の日に咲きそうな雌花にふくろをかぶせる理由を、花のつくりや結実の様子を基に、説明することができる。				○	○		○			60.3	6.8	

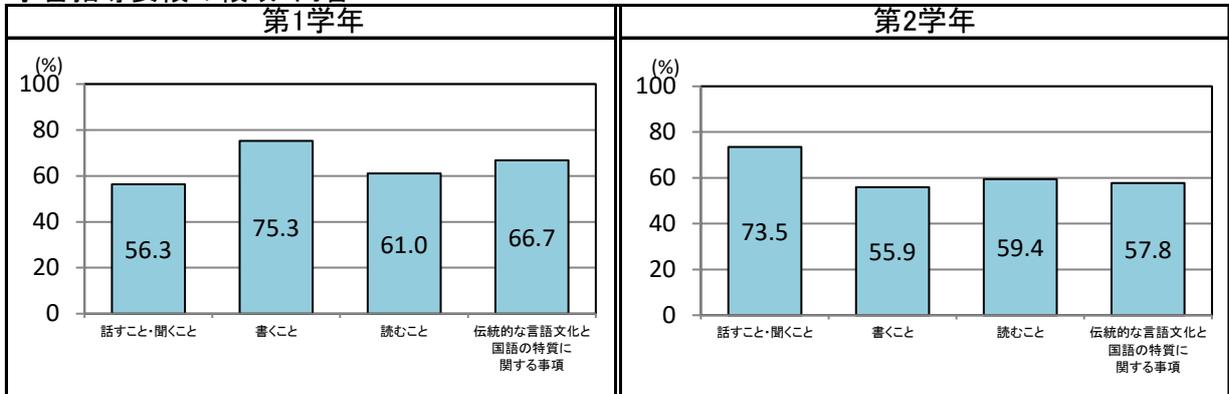


【分類・区分別の状況】

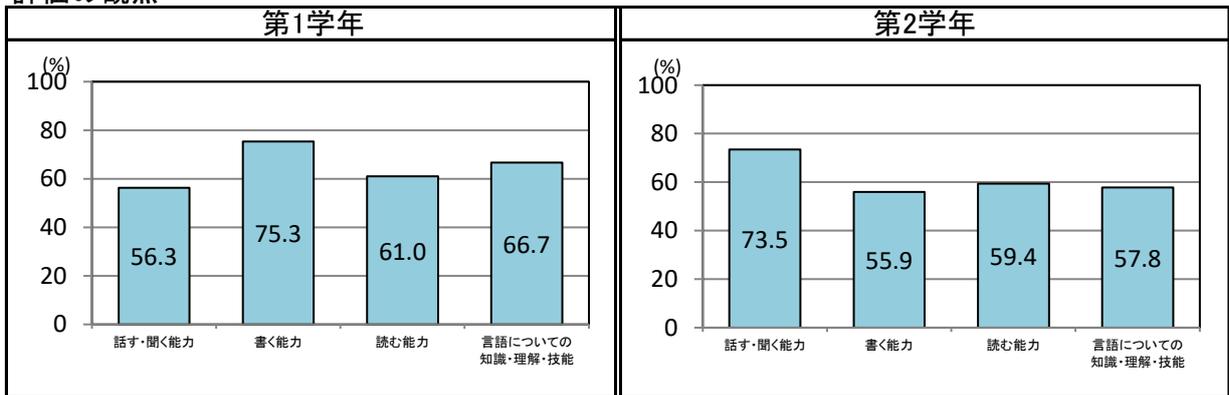
正答率分布の状況



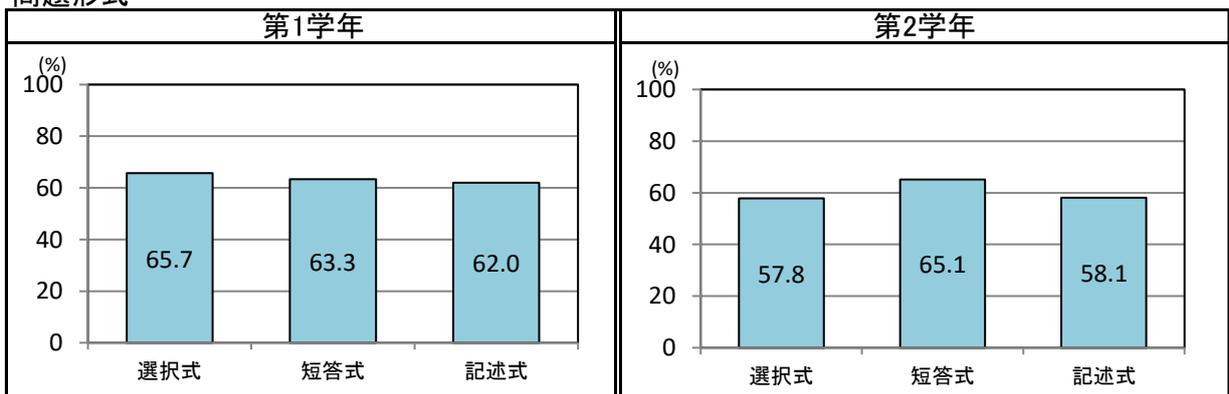
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式





成果・改善が見られる問題

<p>第1学年</p> <p>■問題番号 2 (2) 1・2</p> <p>■問題の内容 漢字を書く。</p> <p>■出題のねらい 文脈に即して漢字を正しく書く。</p>	<p>正答率</p> <p>1 37.6%</p> <p>2 60.0%</p>	<p>第2学年</p> <p>■問題番号 7</p> <p>■問題の内容 第1段落にグラフから読み取ったことを書く。</p> <p>■出題のねらい 読み取った内容を明確にして書く。</p>	<p>正答率 52.8%</p>
--	--	--	------------------



漢字指導の充実

○分析・考察

文脈に即して漢字を書くことに改善傾向が見られる。
このことから、字形、音訓、意味や用法などに注意し、文中における語句の意味のつながりを考えて、漢字を書くことの指導がなされていることがうかがえる。

○学習指導に当たって

漢字指導に当たっては、正確に読み書きできるようにすることに加え、文中における語句の意味のつながりを捉え、適切に使えるようにすることが大切である。
そのため、同音や形が似ている漢字など、間違いやすい漢字については、文章の中ばかりでなく、「話すこと・聞くこと」の学習や他教科等においても、意識させる工夫が必要である。併せて、辞書を引くよう指導し、漢字を正しく用いる態度と習慣を養いたい。



情報の扱い方に関する指導の充実

○分析・考察

グラフから正確にデータ（数値）を読み取り、その傾向を捉えることに改善傾向が見られる。
このことから、データの着目点や引用の仕方などに注意して、必要な情報を取り出すことの指導がなされていることがうかがえる。

○学習指導に当たって

図表等を読み取る際には、特徴的な数値、変化、相違点などの観点に着目することが大切である。また、文章や図表等を用いた説明や記録の文章を書く言語活動では、確かな事実（データの数値など）を正確に記述した上で、その傾向をまとめることが重要である。
その際、引用の仕方・出典の示し方について留意する必要がある。



課題が見られる問題

<p>第1学年</p> <p>■問題番号 6 (2)</p> <p>■問題の内容 内田さんの発言の根拠として適切な言葉を書く。</p> <p>■出題のねらい 根拠を明確にして自分の考えを話す。</p>	<p>正答率 24.1%</p>	<p>第2学年</p> <p>■問題番号 6 (1)</p> <p>■問題の内容 【下書き】にあてはまる調査結果として適切なグラフを、【アンケート調査の結果】から選ぶ。</p> <p>■出題のねらい 伝えたい事柄の根拠として適切な資料を加えて書く。</p>	<p>正答率 27.9%</p>
--	------------------	--	------------------



資料を根拠に、自分の考えを伝えることの指導の改善

○分析・考察

自分の考えや伝えたい事柄の根拠として、適切な資料を選ぶことや、資料から適切な情報を得ることに課題が見られる。
このことから、自分の考えを支える根拠として資料を用いる学習や、図表等を用いて事実（根拠）を効果的に伝える学習が不足していることが考えられる。

○学習指導に当たって

根拠を明確にして自分の考えを伝える言語活動では、複数の事例やデータなどを示すことにより説得力が増すため、自分の考えを支える根拠として、自分の経験以外の情報を集めることが効果的である。また、複数の資料を扱う場合は、それぞれの資料に書かれている情報を正確に理解した上で、資料相互の関連性を整理したり、資料と自分の考えとのつながり（考えと根拠の整合性）を検討したりすることが必要である。
そのため、例えば、日常生活の中から話題を決め、目的や場面に応じて、図表等の情報を根拠として自分の考えを伝え合う言語活動を設定することが考えられる。その際、資料のどこに、なぜ着目したのか、そこからどのように考えたのかを明確にすることが必要である。また、「便り」や「新聞」「レポート」「プレゼンテーション」などの言語活動を通して考えを伝える場合は、伝えたい事柄がよりよく伝わるよう、効果的な資料の用い方について考えさせることが大切である。

令和2年度高知県学力定着状況調査 設問別正答率 [中学校国語1年]

問題番号	大問	小問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領との関連				評価の観点			問題形式			高知県	
					話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	正答率 (%)
1		(1)	竹下さんと太田さんの考えの共通点として適切なものを選ぶ。	話の内容を聞き取り、共通点を捉える。	○				○			○			85.3	0.4
		(2)	太田さんの話し方の工夫にあてはまるものを選ぶ。	相手に理解してもらうための話し方の工夫を聞き取る。	○				○			○			68.5	0.6
		(3)	司会者が行っていた話し合いの進め方の工夫として適切なものを選ぶ。	話し合いの目的に沿って司会の役割を果たす。	○				○			○			88.2	0.6
		(4)	太田さんの提案に対する川島さんの質問として、適切な質問を書く。	自分の考えを確かにするために、必要に応じて質問する。	○				○				○		33.1	16.9
2		1	漢字を読む。(典型的な例を挙げる。)	文脈に即して漢字を正しく読む。				○			○		○	62.8	5.7	
		2	漢字を読む。(姿を臨す。)	文脈に即して漢字を正しく読む。				○			○		○	98.5	0.4	
		1	漢字を書く。(自分が生まれたコキョウに帰る。)	文脈に即して漢字を正しく書く。				○			○		○	37.6	14.5	
		2	漢字を書く。(矢の的をやる。)	文脈に即して漢字を正しく書く。				○			○		○	60.0	18.4	
3		(1)	文頭から四番目の文節を抜き出す。	文節について理解する。				○			○		○	74.7	1.4	
		(2)	文頭から五番目の単語を抜き出す。	単語について理解する。				○			○		○	74.0	1.4	
		(3)	慣用語の使い方として正しい文を選ぶ。	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う。				○			○	○		83.2	0.3	
		(4)	文に合う正しいことわざを選ぶ。	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う。				○			○	○		58.7	0.8	
		(5)	三つの漢字と同じ部首に属する漢字を選ぶ。	漢字の部首について理解する。				○			○	○		51.6	1.6	
		(6)	漢字「病」の、矢印で示した画を何画目に書くかを書く。	漢字の筆順について理解する。				○			○		○	65.5	0.9	
4		(1)	ヨシとカシについての筆者の考えとして適切なものを選ぶ。	文章の構成と展開を捉え、内容を理解する。				○			○		○	68.5	0.5	
		(2)	「逆境を利用して成功する」について具体的に説明した言葉を抜き出す。	文章の構成と展開を捉え、内容を理解する。				○			○		○	33.1	19.9	
		(3)	文章を大きく二つのまとまりに分けたものとして適切なものを選ぶ。	文章の構成と展開を捉え、内容を理解する。				○			○		○	35.2	0.8	
		(4)	文章で述べられている内容と一致する事例を選ぶ。	文章の内容を捉え、書き手の考えを理解する。				○			○		○	67.9	1.3	
5		(1)	文章中の表現から読み取れる走哉の状態として適切なものを選ぶ。	登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する。				○			○		○	77.4	0.7	
		(2)	文章中の表現から読み取れるみんなの様子として適切なものを選ぶ。	登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する。				○			○		○	69.7	1.0	
		(3)	文章の内容に関する話し合いにあてはまる言葉として適切なものを選ぶ。	登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する。				○			○		○	73.2	1.1	
		(4)	文章の表現の特徴についての説明として適切なものを選ぶ。	文章の表現の特徴を捉える。				○			○		○	62.9	1.4	
6		(1)	木村さんの発言の根拠となるグラフを選ぶ。	根拠を明確にして自分の考えを話す。	○				○				○	46.1	1.7	
		(2)	内田さんの発言の根拠として適切な言葉を書く。	根拠を明確にして自分の考えを話す。	○				○				○	24.1	19.5	
		(3)	【話し合いの様子】における中山さんの発言の役割として適切なものを選ぶ。	話し合いの話題や方向を捉えて的確に話す。	○				○				○	48.6	3.1	
7			3段落構成で書く。	3段落構成で文章を書く。				○					○	73.2	10.8	
			第1段落にAのポスターの特徴を書く。	読み取った内容を明確にして書く。				○					○	73.6	10.8	
			第2段落にBのポスターの特徴を書く。	読み取った内容を明確にして書く。				○					○	78.4	10.8	
			第3段落に校内に掲示するポスターとして、どちらが効果的だと思うか、自分の考えを書く。	自分の考えの根拠を明確にして書く。				○					○	78.6	10.8	
30		9行から11行(161字から220字)の間で書く。	指定された文字数で書く。				○					○	72.8	10.8		

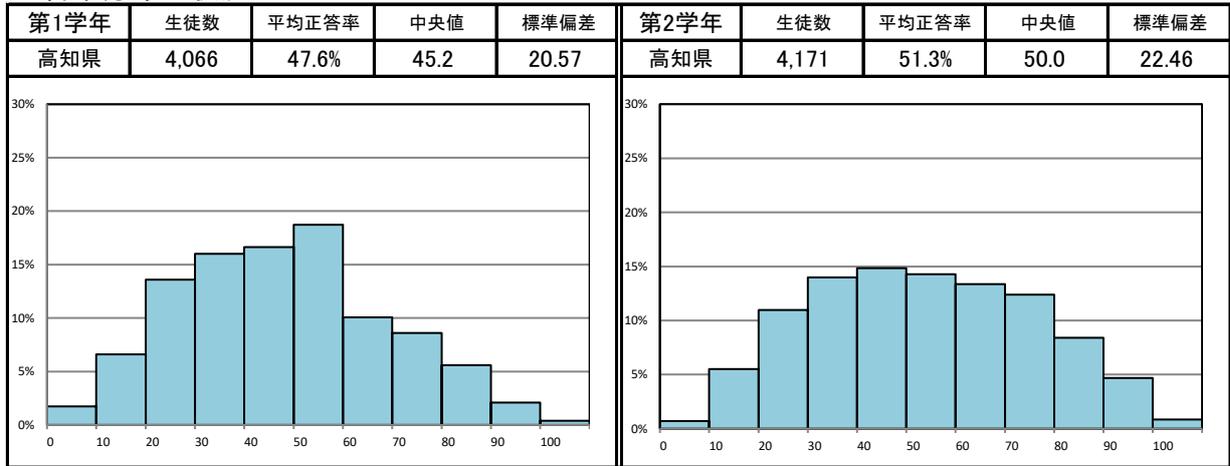
令和2年度高知県学力定着状況調査 設問別正答率 [中学校国語2年]

問題番号	大問	小問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領との関連				評価の観点				問題形式			高知県	
					話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	正答率 (%)	無解答率 (%)
1	1	(1)	野口さんの話し方の工夫にあてはまるものを選ぶ。	論理的な構成を工夫して話す。	○				○				○			92.0	0.2
2		(2)	森山さんが話した内容にあてはまるものとして適切なものを選ぶ。	話の論理的な構成や展開に注意して聞く。	○				○				○			88.7	0.2
3		(3)	司会者が行っていた話し合いの進め方の工夫として適切なものを選ぶ。	話し合いの目的に沿って司会の役割を果たす。	○				○				○			78.2	0.5
4		(4)	前の発言を踏まえ、原田さんの意見を書く。	話の展開に注意して、自分の考えと比較しながら聞く。	○				○					○		35.2	9.0
5	2	(1)	1 漢字を読む。(資料を添付する。)	文脈に即して漢字を正しく読む。				○				○	○		38.7	11.6	
6			2 漢字を読む。(山が連なる。)	文脈に即して漢字を正しく読む。				○				○	○		94.1	0.9	
7		(2)	1 漢字を書く。(家と学校とをオウフクする。)	文脈に即して漢字を正しく書く。				○				○	○		52.0	10.8	
8			2 漢字を書く。(会社にツとめる。)	文脈に即して漢字を正しく書く。				○				○	○		36.5	10.3	
9	3	(1)	傍線で示された文節の関係と同じ関係が示されている文を選ぶ。	文の成分について理解する。				○				○	○		41.1	0.2	
10		(2)	三つの単語がすべて用言である組み合わせを選ぶ。	用言について理解する。				○				○	○		63.3	0.6	
11		(3)	文章の内容にあてはまる故事成語と解釈を選ぶ。	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う。				○				○	○		75.0	1.1	
12		(4)	三つの漢字と同じ部首に属する漢字を選ぶ。	漢字の部首について理解する。				○				○	○		23.3	1.7	
13		(5)	行書の特徴の組み合わせとして適切なものを選ぶ。	行書の特徴について理解する。				○				○	○		53.7	0.7	
14		(6)	① 「易く知りなん」の意味を【現代語訳】の中から抜き出す。	古文と現代語訳を対応させて内容を捉える。				○				○	○		83.7	3.1	
15	② 歴史的仮名遣い「いふ」を現代仮名遣いに直す。	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む。					○				○	○		75.0	2.4		
16	4	(1)	文章の中にあてはまる言葉の組み合わせとして適切なものを選ぶ。	文章の構成と展開を捉え、内容を理解する。				○				○	○		75.1	0.3	
17		(2)	文章の内容を説明した文にあてはまる言葉を抜き出す。	文章の構成と展開を捉え、内容を理解する。				○				○	○		66.0	13.7	
18		(3)	日本の特徴について整理したものにあてはまる言葉の組み合わせとして適切なものを選ぶ。	文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える。				○				○	○		54.9	0.6	
19		(4)	段落の役割の説明として適切なものを選ぶ。	段落が文章全体の中で果たす役割を捉える。				○				○	○		37.5	1.1	
20	5	(1)	「僕」が考えた花香の状態として適切なものを選ぶ。	描写の効果を考え、内容を理解する。				○				○	○		80.9	0.5	
21		(2)	「僕」が考えたことの意味として適切なものを選ぶ。	登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する。				○				○	○		59.5	0.5	
22		(3)	文章の内容に関する話し合いにあてはまる言葉として適切なものを選ぶ。	描写の効果や登場人物の言動の意味などを考え、内容を理解する。				○				○	○		61.7	0.7	
23		(4)	文章の表現についての説明として適切なものを選ぶ。	文章の表現の仕方について、自分の考えをもつ。				○				○	○		39.9	1.2	
24	6	(1)	【下書き】にあてはまる調査結果として適切なグラフを、【アンケート調査の結果】から選ぶ。	伝えたい事柄の根拠として適切な資料を加えて書く。				○				○	○		27.9	1.2	
25		(2)	【下書き】の中にあてはまる言葉を、【会話の様子】を踏まえて書く。	考えの根拠となる事実を捉え、具体的に書く。				○				○	○		53.5	14.2	
26		(3)	【下書き】を書き直した意図として適切なものを選ぶ。	伝えたい事柄にふさわしい内容になっているかについて検討する。				○				○	○		47.9	2.5	
27	7		3段落構成で書く。	3段落構成で文章を書く。				○				○	○		64.3	16.0	
28			第1段落にグラフから読み取ったことを書く。	読み取った内容を明確にして書く。				○				○	○		52.8	16.0	
29			第2段落にグラフから読み取ったことについて、自分が考えたことを書く。	自分の考えを明確にして書く。				○				○	○		68.9	16.0	
30			第3段落に言葉遣いについて、自分が今後気をつけたいことを書く。	自分の考えを明確にして書く。				○				○	○		63.7	16.0	
31			8行から10行(141字から200字)の間で書く。	指定された文字数で書く。				○				○	○		68.3	16.0	

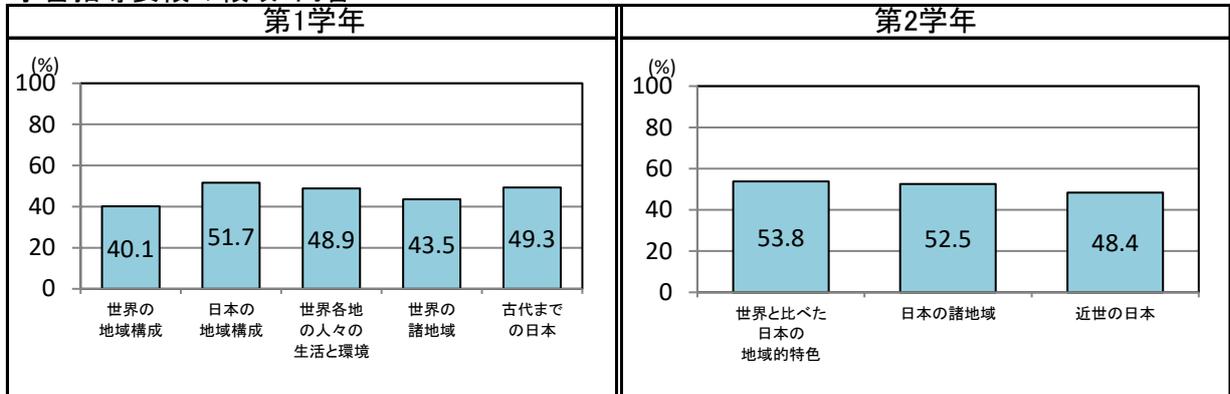


【分類・区別の状況】

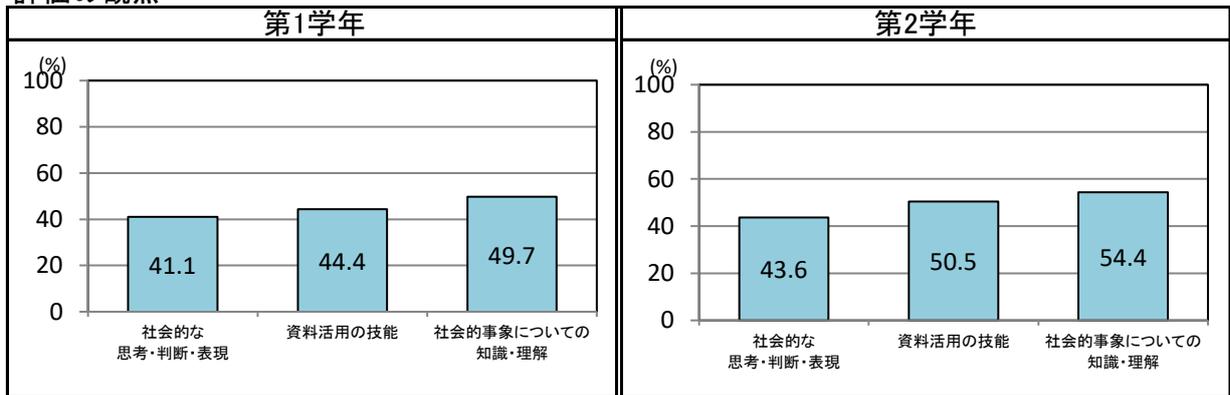
正答率分布の状況



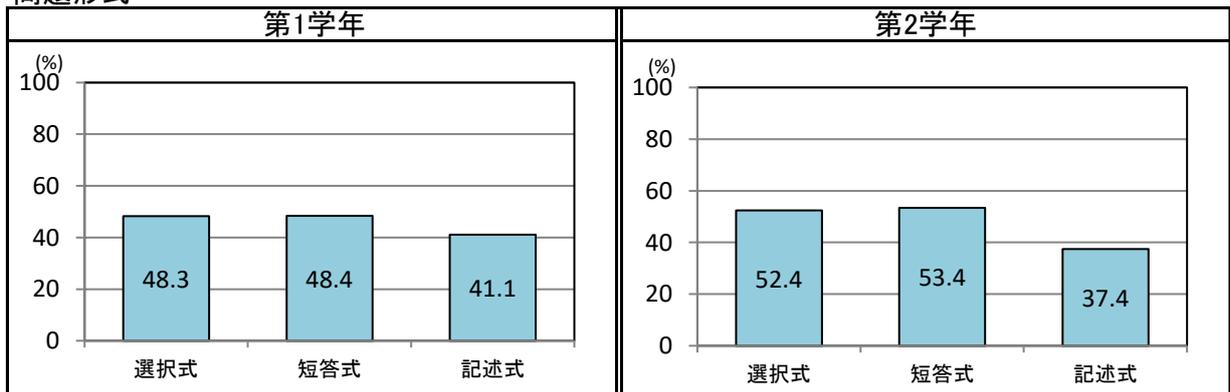
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式





成果・改善が見られる問題

<p>第1学年 ■問題番号 3 (2) ■問題の内容 地図中の ① の都市の気温と降水量のグラフとして適切なものを選ぶ。 ■出題のねらい 気温と降水量のグラフを基に、世界各地の気候の特色とその分布について、読み取ることができる。</p>	<p>正答率 57.6%</p>	<p>第2学年 ■問題番号 1 (5) ■問題の内容 日本の産業別就業者数の推移について説明した文として適切なものを選ぶ。 ■出題のねらい 資料を基に、日本の産業に関する特色について、読み取ることができる。</p>	<p>正答率 54.2%</p>
---	------------------	--	------------------



社会的事象等について調べまとめる技能の向上

○分析・考察

社会的事象に関する特色（世界各地の気候の特色と気候の分布、国内の産業の動向）を理解するに当たり、必要な情報を読み取ることに伴って、改善傾向が見られる。このことから、課題の追究・解決に必要な資料の中から、位置や分布、量やその変化などの全体的な傾向を読み取ったり、事実を正確に読み取ったりする場面を設定した授業が行われていることがうかがえる。

○学習指導に当たって

社会的事象に関する様々な情報を読み取ることに加えて、資料を収集したり、まとめたりする技能を身に付ける学習活動を充実させることが大切である。

例えば、課題の解決に必要な資料（地図や年表、統計資料等）はICT等を活用して収集できるようにすることが考えられる。また、収集して読み取った情報は、項目やカテゴリで分けたり、順序や因果関係などで整理して年表にまとめたり、位置や方位、範囲などで整理して白地図上にまとめたりするなど、目的や資料の特性に応じて整理すると効果的である。



課題が見られる問題

<p>第1学年 ■問題番号 6 (5) ■問題の内容 長屋王の邸宅あとから出土された木簡に書かれていた「調」とは何かを説明する。 ■出題のねらい 大陸の制度などを取り入れながら国家の仕組みが整えられるなかでの人々の負担について、資料を基に考え、説明することができる。</p>	<p>正答率 23.5%</p>	<p>第2学年 ■問題番号 2 (3) ■問題の内容 Xの工業地域と全国の工業出荷額の種類と内訳のグラフから、Aの工業にあてはまるものを選ぶ。 ■出題のねらい 複数の資料を基に、日本の地域を特色付ける産業と社会的条件について関連付けることができる。</p>	<p>正答率 35.4%</p>
--	------------------	---	------------------



生徒自らが問いをもち、課題の追究・解決に向けて、資料を活用し考察する学習活動の充実

○分析・考察

複数の資料を関連付けて考察したり、資料を基に背景や原因、結果を捉えて説明したりすることに課題が見られる。このことから、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連について多面的・多角的に考察したことを論理的に説明したり、立場や根拠を明確にして議論したりするなどの学習活動の設定が十分でないことが考えられる。

○学習指導に当たって

生徒自らが問いをもち、課題解決に向けて考察するなかで、根拠を基にして自分の考えをまとめ説明させることが大切である。そのためには、課題設定の際に、単元（内容や時間のまとまり）のねらいにつながる社会的事象を取り上げた資料等の提示をするなど、生徒自らが問いをもてるような場面を設定し、生徒の疑問から着目すべき視点が分かるような学習課題を立てることが重要である。

例えば、地理的分野では、位置や分布、場所、人間と自然環境の相互依存等に着目できる課題（問い）、歴史的分野では、時系列、諸事象の推移、事象相互のつながり（背景・原因・結果・影響）等に着目できる課題（問い）を設定することが考えられる。そして、その課題（問い）の追究・解決を図る過程で、資料を基に背景や影響を捉えたり、複数の資料を関連付けたりして考察し、自分が思考・判断したことについて、根拠を基に説明できるようにしていくことが必要である。

令和2年度高知県学力定着状況調査 設問別正答率 [中学校社会1年]

問題番号	大問	小問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領との関連					評価の観点			問題形式		高知県	
					世界の地域構成	日本の地域構成	世界各地の人々の生活と環境	世界の諸地域	古代までの日本	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的な事象についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)
1		①	中心からの距離と方位が正しい地図について、読み取れることとして適切な方位を選ぶ。	中心からの距離と方位の正しい地図の特色を基に、地図の中心からある地点の方位を読み取ることができる。	○					○		○			60.4	0.1
2	1	②	中心からの距離と方位が正しい地図について、読み取れることとして適切な距離を選ぶ。	中心からの距離と方位の正しい地図の特色を基に、地図の中心からある地点の距離を読み取ることができる。	○					○		○			28.4	0.2
3		(2)	中心からの距離と方位が正しい地図を基に、経度として正しいものを選ぶ。	中心からの距離と方位の正しい地図の特色を基に、地図中の経度を読み取ることができる。	○					○		○			31.6	0.5
4	2	(1)	都道府県のうち、2つの条件にあてはまる県の組み合わせとして正しいものを選ぶ。	都道府県の名称や位置及び都道府県庁所在地を理解している。		○						○	○		46.2	0.3
5		(2)	日本固有の領土である地図中Pの範囲にある島々の名称を書く。	日本固有の領土である北方領土の位置と範囲を理解している。		○						○	○		57.3	10.0
6		(1)	寒帯のAの地域で見られる特徴的な気候の名称を書く。	寒い地域の特色ある自然環境と人々の生活について理解している。				○				○	○		38.6	9.8
7	3	(2)	地図中の㉑の都市の気温と降水量のグラフとして適切なものを選ぶ。	気温と降水量のグラフを基に、世界各地の気候の特色とその分布について、読み取ることができる。				○				○	○		57.6	0.3
8		(3)	フィジーの宗教別人口上位の組み合わせとして適切なものを選ぶ。	世界の主な宗教の分布について、理解している。				○				○	○		50.4	0.2
9	4	(1)	アジア州の一部を表した地図に示された半島と山脈の名称の組み合わせとして正しいものを選ぶ。	アジア州の地形の特色について理解している。				○				○	○		52.2	0.2
10		(2)	アジア州の農業の国別生産量の割合を表したグラフから米にあてはまるものを選ぶ。	アジア州における農業生産の特色について理解している。				○				○	○		34.8	0.4
11		(1)	人類の出現と進化の特色について適切なものを選ぶ。	人類の出現と進化の特色について理解している。				○				○	○		68.1	0.2
12	5	①	くさび形文字が使われていた地域として適切なものを選ぶ。	資料から、古代文明の特色について捉えることができる。				○				○	○		43.9	0.2
13		②	古代文明がおこったころの日本の様子について説明した文として適切なものを選ぶ。	古代文明がおこったころの日本の様子について理解している。				○				○	○		39.7	0.5
14		(3)	現在の奈良県北部を中心とした地域の豪族たちが連合してつくった強力な政権(王権)の名称を書く。	大和朝廷による統一について理解している。				○				○	○		63.2	11.3
15		(1)	聖徳太子が小野妹子を派遣した中国の王朝名を書く。	聖徳太子の政治について理解している。				○				○	○		38.0	7.8
16		(2)	飛鳥時代に起こったできごとについて、年代の古い順に正しく並べたものを選ぶ。	律令国家の確立に至るまでの過程について理解している。				○				○	○		55.1	0.3
17		(3)	鑑真が開いた寺院として正しいものを選ぶ。	仏教の伝来とその影響について理解している。				○				○	○		60.2	0.5
18	6	(4)	口分田について述べられた文として適切なものを選ぶ。	大陸の制度などを取り入れながら国家の仕組みが整えられたことについて理解している。				○				○	○		47.2	0.8
19		(5)	長屋王の邸宅あとから出土された木簡に書かれていた「調」とは何かを説明する。	大陸の制度などを取り入れながら国家の仕組みが整えられるなかでの人々の負担について、資料を基に考え、説明することができる。				○	○				○	23.5	21.7	
20		①	藤原氏が勢力をのびて政治の実権を握るようになった理由について、「娘」「天皇」の語句を使って説明する。	資料から、摂関政治の特色について考え、説明することができる。				○	○				○	58.8	7.9	
21		②	念仏を唱えて阿彌陀仏にすがり、死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う信仰の名称を書く。	仏教の伝来とその影響について理解している。				○				○	○		44.8	16.1

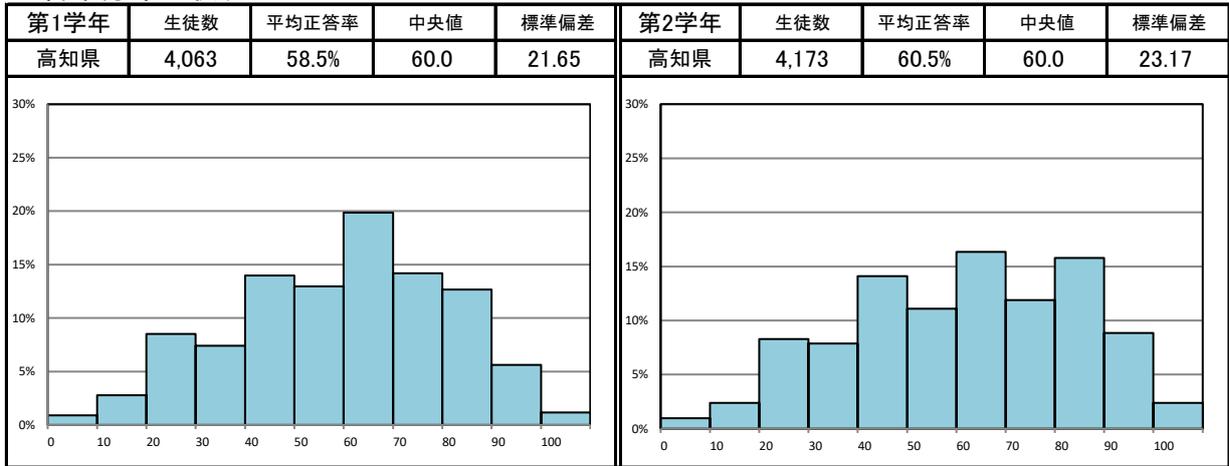
令和2年度高知県学力定着状況調査 設問別正答率 [中学校社会2年]

問題番号			問題の内容	出題のねらい	学習指導要領との関係			評価の観点			問題形式			高知県	
通し番号	大問	小問			世界と比べた日本の地域的特色	日本の諸地域	近世の日本	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的な事象についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)
1	(1)		ラテン語で「大きなみぞ」を意味する地帯の名称を書く。	日本の地形の特色について理解している。	○			○		○		38.0	17.7		
2	(2)		川によって運ばれた土砂が、河口付近にたまってできた地形の名称として正しいものを選ぶ。	日本の地形の特色について理解している。	○			○	○			57.8	0.0		
3	(3)		不要になった自動車や電化製品などを回収・分解して、部品に使われている貴重な金属を取り出し再利用することを何というか書く。	日本の資源に関する現状や課題、環境保全の取組について理解している。	○	○		○		○		79.0	7.4		
4	(4)		海上輸送と航空輸送の特色について、資料を基に説明する。	日本と世界の物流の特色について、資料を基に考察し、説明することができる。	○			○			○	54.1	7.1		
5	(5)		日本の産業別就業者数の推移について説明した文として適切なものを選ぶ。	資料を基に、日本の産業に関する特色について読み取ることができる。	○			○		○		54.2	0.4		
6	(6)		世界の州別人口の推移のグラフにあてはまる州の組み合わせとして正しいものを選ぶ。	資料を基に、世界の人口分布と推移について、読み取ることができる。	○			○		○		43.7	0.3		
7	①		九州、中国・四国、近畿地方にある川や山・山地、平野の組み合わせとして正しいものを選ぶ。	日本の地域を特色付ける自然環境について理解している。		○			○	○		69.7	0.2		
8	②		地方別発電量と発電方法の内訳を表した表から地熱発電を選ぶ。	資料を基に、日本の資源・エネルギーに関する現状について読み取ることができる。	○			○		○		58.5	0.5		
9	(2)		地図中の都市の年間の降水量を表したグラフから、都市Pにあてはまるものを選ぶ。	日本の気候に関する特色について捉えることができる。	○			○		○		49.1	0.4		
10	(3)		Xの工業地域と全国の工業出荷額の種類と内訳のグラフから、Aの工業にあてはまるものを選ぶ。	複数の資料を基に、日本の地域を特色付ける産業と社会的条件について関連付けることができる。		○		○		○		35.4	0.9		
11	(4)		せまい範囲に人口が集中してさまざまな問題が起きている状態のことを何というか書く。	日本の人口に関する特色について理解している。	○				○		○	50.2	13.3		
12	①		キリスト教の聖地であるエルサレムをイスラム教徒から奪い返すために派遣された軍の名称を書く。	ヨーロッパ人來航の背景やキリスト教世界の動きについて理解している。			○		○		○	54.8	18.0		
13	②		コロンブスがスペインの援助を受けた航海について説明した文として適切なものを選ぶ。	ヨーロッパ人來航の背景について理解している。			○		○	○		45.6	0.5		
14	①		略年表中に示された時代に起こったできごとを年代の古い順に並べ替えたものとして適切なものを選ぶ。	ヨーロッパ人來航とその影響や織田・豊田による統一事業について理解している。			○		○	○		47.1	0.5		
15	(2)	②	刀狩令の目的について、資料を基に説明する。	刀狩について、資料を基に考察し、その目的を説明することができる。			○	○			○	20.7	15.8		
16	③		太閤検地と刀狩令の政策を行った結果について説明した文として適切なものを選ぶ。	織田・豊田による統一事業について理解している。			○		○	○		68.8	0.3		
17	(1)		徳川家康が行った政策のうち、貿易の名称を書く。	江戸幕府の外交関係について理解している。			○		○		○	42.2	11.6		
18	①		島原・天草一揆が起こった場所として適切な場所を地図中から選ぶ。	資料を基に、江戸幕府によるキリスト教の禁止について捉えることができる。			○		○		○	47.1	0.6		
19	②		鎖国下で唯一貿易を許されたヨーロッパの国の名称を書く。	江戸幕府の鎖国政策について理解している。			○		○		○	45.1	6.8		
20	(3)		複数の資料を基に、江戸幕府の財政を支えていたものについての名称を書く。	資料を基に、江戸幕府の身分制度の確立や農村の様子について、考察することができる。			○	○			○	64.3	7.5		

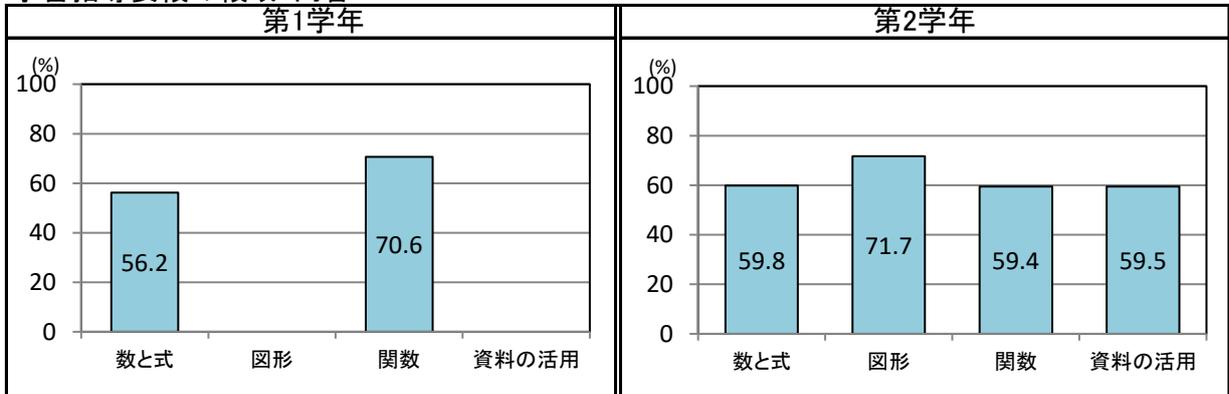


【分類・区別の状況】

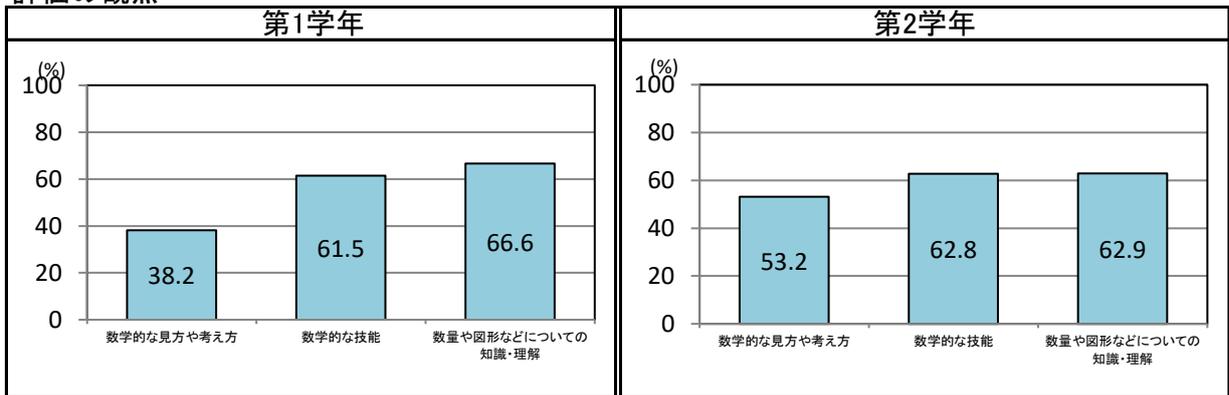
正答率分布の状況



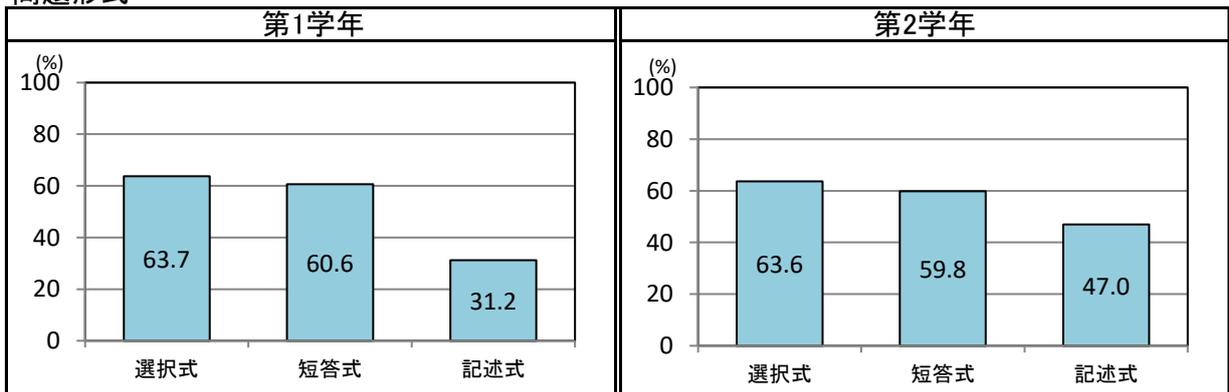
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式





成果・改善が見られる問題

<p>第1学年 ■問題番号 11 ■問題の内容 1日の目安の数との差を正の数・負の数で表した表を理解して、5日間で目標の数の花飾りを作ることができたかを判断し、その判断の理由を説明する。 ■出題のねらい 与えられた表を基に判断し、その判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。</p>	<p>正答率 55.2%</p>	<p>第2学年 ■問題番号 11(2) ■問題の内容 平均年齢の人が多く来ると予想することが適切ではない理由を、ヒストグラムの特徴から説明する。 ■出題のねらい 資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。</p>	<p>正答率 61.5%</p>
---	------------------	---	------------------



数学的活動における言語活動の充実

○分析・考察

数学的な表現を用いて判断した理由を説明することについて、改善傾向が見られる。このことから、数学的な表現を用いて、伝え合う等の言語活動に取り組む授業づくりが進んできたことがうかがえる。特に、資料の活用の授業においては、資料の傾向を読み取って、批判的に考察し判断する機会を大切に、単に代表値を求めるだけでなく、ヒストグラムの特徴を読み取り判断するための根拠として、代表値を用いて説明するなどの授業改善に取り組んできたと考えられる。

○学習指導に当たって

生徒が、問題を発見し、問題から導かれる結果を予想したり、問題解決した結果を振り返り、その理由を説明する場面を設けることが大切である。例えば、第2学年**11**(2)では、「ヒストグラムの山の頂上にあたる階級は14歳を含む階級ではないので、14歳の人が多く来ると考えるのは適切ではない。」等、自分なりに判断した結果を、なぜ、そのように考えたのか、その理由を説明する活動が考えられる。このような学習を通して、生徒が数学的活動に主体的に取り組むように授業を構成していくと効果的である。



課題が見られる問題

<p>第1学年 ■問題番号 3(3)・12(2) ■問題の内容 ・ $-\frac{1}{2}(4x-1)$ を計算する。 ・ 正方形をn個並べて8個ずつ囲んだときに、2回数えている基石をnを用いた式で表す。 ■出題のねらい ・ 一次式と分数の乗法の計算ができる。 ・ 与えられた説明の筋道を読み取り、事象を数学的に表現することができる。</p>	<p>正答率 3(3) 38.3% 12(2) 25.5%</p>	<p>第2学年 ■問題番号 1(3) ■問題の内容 等式 $V = \frac{1}{3}Sh$ を、Sについて解く。 ■出題のねらい 具体的な場面で、等式を目的に応じて変形することができる。</p>	<p>正答率 39.5%</p>
--	---------------------------------------	--	------------------



既習の学びと関連付ける指導の工夫

○分析・考察

文字式については、単に計算処理の問題だけではなく、文字を用いて事象を数学的に表現することにも課題が見られる。このことから、文字と式について、生徒がどの段階でつまづいているのか、個々の定着状況の見取りとその状況に応じた指導が十分でないと考えられる。「数量を文字を使った式で表すこと」と「文字式の計算ができないこと」の2つの段階に応じて以下の指導が考えられる。

○学習指導に当たって

文字のもつ一般性について丁寧に取り扱い、文字に対する抵抗感を和らげながら漸次理解することができるように指導することが大切である。数量を文字を使った式で表す場合は、具体的な数や言葉で表された式の変数を文字に置き換えるなどして、小学校での既習の学びを想起させ、関連付けて指導することが考えられる。また、文字式の計算ができない場合は、具体的な数の計算や既に学習した計算の方法と関連付けて、考えさせることが効果的である。さらに、文字式の計算を確実にできるようにしていくためには、計算結果について、具体的な数を代入して確認する活動を取り入れることで生徒自身で間違いに気付き見直すことができるようになる。単に、計算練習をするだけでなく、計算結果について、どこに誤りがあるかを見いだせるようにしたり、係数に着目して正しく計算する方法を考えられるようにしたりすることも、学習への自己調整力を高め、文字式への理解を広げ深めるためには必要である。

令和2年度高知県学力定着状況調査 設問別正答率 [中学校数学1年]

問題番号			問題の内容	出題のねらい	学習指導要領との関連				評価の観点			問題形式			高知県	
通し番号	大問	小問			数と式	図形	関数	資料の活用	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)
1	(1)		-2, 1, -4を, 小さいほうから順に並べたものを選ぶ。	負の数の大小関係を理解している。	○					○	○		93.0	0.1		
2	(2)		絶対値が3の数を書く。	正の数と負の数の範囲で絶対値の意味を理解している。	○					○		○	81.5	2.5		
3	(1)		$-9 + (-7)$ を計算する。	負の数の加法の計算ができる。	○				○			○	84.4	0.9		
4	(2)		四則計算のうち, 数が自然数の範囲では閉じておらず, 整数の範囲では閉じている計算を選ぶ。	数の範囲を拡張することによる, 四則計算の可能性について理解している。	○					○	○		30.3	0.3		
5	(1)		$-8a + 7a$ を計算する。	簡単な一次式の加法の計算ができる。	○				○			○	78.3	0.9		
6	(2)		$(6a + 9) - (9a + 2)$ を計算する。	簡単な一次式の減法の計算ができる。	○				○			○	50.6	2.5		
7	(3)		$-\frac{1}{2}(4x - 1)$ を計算する。	一次式と分数の乗法の計算ができる。	○				○			○	38.3	10.4		
8	(1)		$a \div 3 \times b$ を, 文字式の表し方にしたがって表した式を選ぶ。	文字式の表し方を理解している。	○					○	○		44.9	0.2		
9	(2)		$x = -9$ のときの式 x^2 の値を求める。	文字式に数を代入して式の値を求めることができる。	○					○		○	43.1	6.4		
10	(3)		a km のジョギングコースを時速 7 km で走ると b 時間以上かかるときの数量の関係を表した不等式を選ぶ。	数量の大小関係を不等式に表すことができる。	○				○		○		43.4	0.4		
11	5		小数を含む一元一次方程式を解く際に用いられている等式の性質を選ぶ。	方程式を解く場面における等式の性質の用い方について理解している。	○					○	○		77.6	0.4		
12	(1)		一次方程式 $x - 3 = 5x + 9$ を解く。	簡単な一次方程式を解くことができる。	○				○			○	67.1	5.1		
13	(2)		比例式 $6 : x = 8 : 5$ を解き, x の値を選ぶ。	簡単な比例式を解くことができる。	○				○			○	57.8	1.0		
14	7		数量の関係を一元一次方程式で表す。	具体的な事象における数量の関係を捉え, 一元一次方程式をつくることができる。	○				○			○	66.4	10.1		
15	8		文章問題を解くための一次方程式について, ある数が表す数量を選ぶ。	与えられた一元一次方程式の数の意味を, 具体的な事象の中で読み取ることができる。	○				○			○	71.8	0.6		
16	(1)		座標平面上に表された点Aの座標 $(3, -2)$ を選ぶ。	座標平面上にある点の位置の表し方を理解している。			○			○	○		90.7	0.3		
17	(2)		比例の関係の x の値とそれに対応する y の値の関係について, 正しく説明しているものを選ぶ。	比例の意味を理解している。			○			○	○		53.6	0.3		
18	(1)		比例の関係を表す表を読み取り, その関係を式で表したものを選ぶ。	比例の表から, x と y の関係を式で表すことができる。			○			○		○	76.9	0.5		
19	(2)		$y = -10x$ 上の点を選ぶ。	比例のグラフ上にある点の x 座標と y 座標の値の組が, その式を満たしていることを理解している。			○			○	○		61.1	1.5		
20	11		1日の目安の数の差を正の数・負の数で表した表を理解して, 5日間で目標の数の花飾りを作ることができたかを判断し, その判断の理由を説明する。	与えられた表を基に判断し, その判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。	○				○			○	55.2	4.0		
21	(1)		正方形を4個つくるのに必要な基石の個数を求める。	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる。	○				○			○	57.0	4.7		
22	(2)		正方形を n 個並べて8個ずつ困んだときに, 2回数えている基石を n を用いた式で表す。	与えられた説明の筋道を読み取り, 事象を数学的に表現することができる。	○				○			○	25.5	11.4		
23	(3)		正方形を n 個つくるのに必要な基石の個数を, $8 + 7(n - 1)$ という式で求めることができる理由を説明する。	事象と式の対応を的確に捉え, 事柄が成り立つ理由を説明することができる。	○				○			○	10.8	20.0		
24	(1)		示された場合についての得点を求める。	与えられた情報から必要な情報を適切に選択し, 処理することができる。	○				○			○	74.7	7.1		
25	(2)		大りんごの個数を10個とすると, 満点の場合を100ポイントにできない理由を, 式を基に説明する。	与えられた式を基に, 判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。	○				○			○	27.6	21.4		

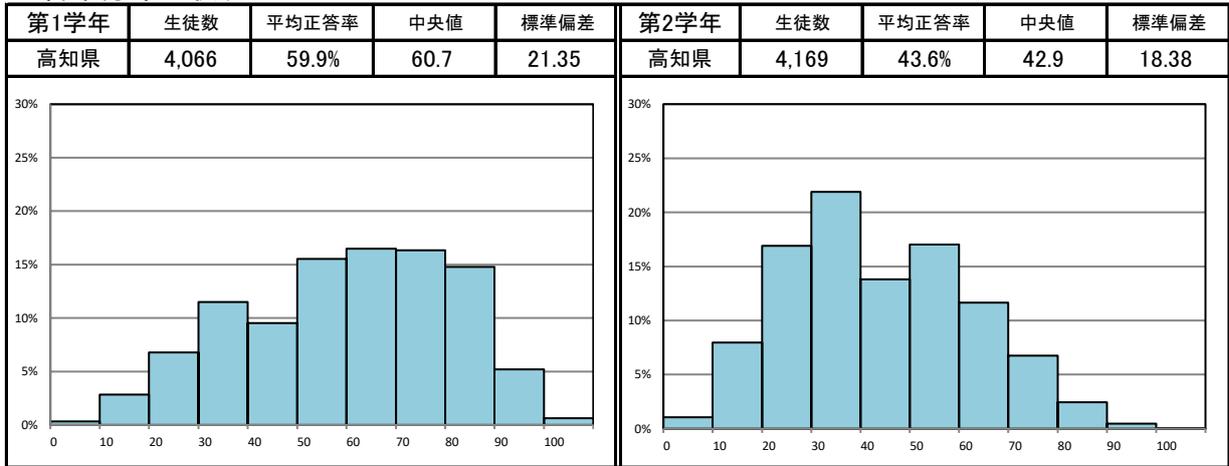
令和2年度高知県学力定着状況調査 設問別正答率 [中学校数学2年]

問題番号			問題の内容	出題のねらい	学習指導要領との関連				評価の観点			問題形式			高知県	
通し番号	大問	小問			数と式	図形	関数	資料の活用	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)
1	(1)		連続する2つの奇数のうち、大きい方の奇数を $2n+1$ とすると、小さい方の奇数を n を用いて表した式を選ぶ。	数量や法則などを文字式で表現することができる。	○				○	○			67.0	0.3		
2	1	(2)	$x=\frac{2}{3}$, $y=4$ のときの式 $21x^2y \div (-7x)$ の値を選ぶ。	文字式に数を代入して式の値を求めることができる。	○				○	○			59.7	1.2		
3	(3)		等式 $V=\frac{1}{3}Sh$ を、 S について解く。	具体的な場面で、等式を目的に応じて変形することができる。	○				○		○		39.5	15.5		
4	(1)		$2x^2+3x+4x^2+5x$ を計算する。	同類項をまとめることができる。	○				○		○		78.5	2.1		
5	2	(2)	$4(3x+y)-2(x-2y)$ を計算する。	整式の加法と減法の計算ができる。	○				○		○		74.8	3.9		
6	(3)		連立方程式 $(-x+y=5, 4x+3y=22)$ を解く。	簡単な連立二元一次方程式を解くことができる。	○				○		○		65.3	7.1		
7	3		ひもの全長と分けた後の姉妹のひもの長さの差から、姉と妹のひもの長さを求めるための連立方程式をつくる。	具体的な事象における数量の関係を捉え、連立二元一次方程式をつくることができる。	○				○		○		37.6	13.9		
8	4		示された一次関数のグラフの傾き具合や切片の位置から、傾きと切片の正、負の組み合わせを選ぶ。	一次関数の傾きと切片について、グラフと式を関連付けて理解している。			○		○	○			51.4	0.5		
9	(1)		一次関数の関係を表す表を読み取り、その関係の変化の割合を選ぶ。	一次関数の表から、変化の割合を求めることができる。			○		○	○			74.2	0.4		
10	5	(2)	一次関数 $y=4x+3$ について、 x の値が1から4まで増加したときの y の増加量を選ぶ。	一次関数の式について、 x の値の増加に伴う y の増加量を求めることができる。			○		○	○			62.4	0.9		
11	(3)		一次関数 $y=-4x-6$ について、グラフの傾きと切片を書く。	一次関数のグラフの傾きと切片について理解している。			○		○	○			73.6	3.3		
12	(1)		二元一次方程式 $x=-6$ のグラフを選ぶ。	二元一次方程式のグラフの特徴を理解している。			○		○	○			65.5	0.3		
13	(2)		二元一次方程式 $x+2y=8$ の解を座標とする点の集合として正しいものを選ぶ。	二元一次方程式の解を座標とする点の集合は、直線として表されることを理解している。			○		○	○			46.4	0.8		
14	7		正方形の辺上を移動する点を頂点とする四角形の面積について、移動時間と面積の関係を表すグラフを選ぶ。	事象における2つの数量の変化や対応の様子を捉え、その様子を表すグラフを指摘することができる。			○		○	○			38.5	1.1		
15	8		三角形を頂点を中心として 90° 回転移動させたときの図形を選ぶ。	回転移動の意味を理解している。			○		○	○			70.9	0.2		
16	9		三角柱において、与えられた辺とわじれの位置にある辺を選ぶ。	空間における直線と直線との位置関係を理解している。			○		○	○			72.4	0.3		
17	(1)		読書時間について整理した度数分布表から、0分以上30分未満の階級の相対度数を選ぶ。	与えられた度数分布表について、ある階級の相対度数を求めることができる。			○		○	○			67.4	0.6		
18	(2)		テストの点数の中央値が60点だったことについて、必ずいえることを選ぶ。	中央値の意味を理解している。			○		○	○			60.0	0.6		
19	(1)		子ども祭りに来た人の人数の総数のうち、18歳以上の人数の割合を求める。	与えられた資料から必要な情報を読み取り、ある階級以上の全体に対する割合を求めることができる。			○		○	○			49.0	8.1		
20	(2)		平均年齢の人が多く来ると予想することが適切ではない理由を、ヒストグラムの特徴から説明する。	資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。			○	○			○		61.5	14.1		
21	(1)		3つずつ並べた整数の表の列から規則性を見だし、31が入る列を選ぶ。	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる。	○				○	○			78.3	1.6		
22	12	①	表の縦に並ぶ3つの整数の和は、中央の整数の3倍になることを説明する。	事柄が成り立つ理由を、構想を立てて説明することができる。	○				○		○		41.9	21.1		
23	(2)	②	縦に並ぶ3つの整数の和について、整数の範囲であればいつでも成り立つことを選ぶ。	発展的に考え、成り立つ事柄を判断することができる。	○				○	○			55.3	3.1		
24	(1)		使用回数と総費用の関係を表す式を理解し、式の変化の割合が表している数量を選ぶ。	事象と式を関連付けて、変化の割合の意味を読み取ることができる。			○		○	○			84.6	2.7		
25	(2)		AとBのホチキスについて、式やグラフを用いて、2つの総費用が等しくなる使用回数を求める方法を説明する。	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる。			○		○		○		37.6	16.0		

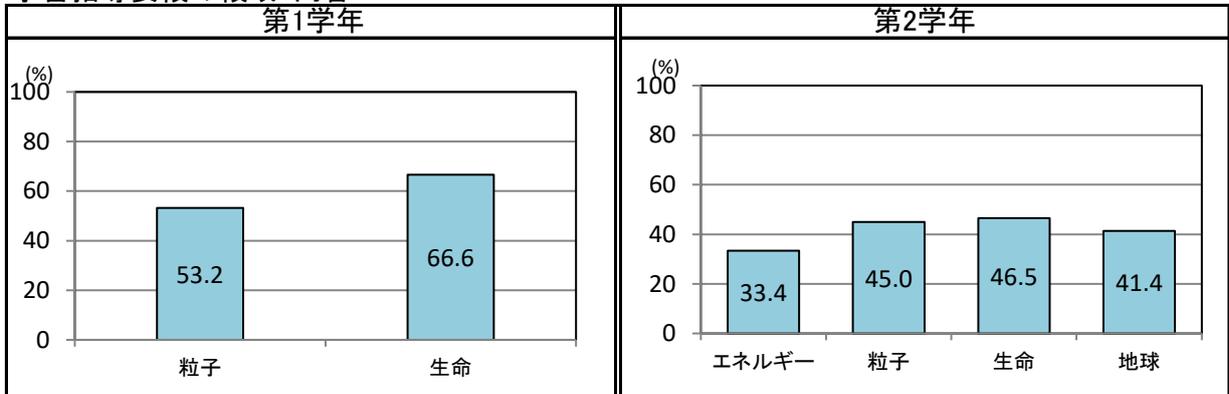


【分類・区分別の状況】

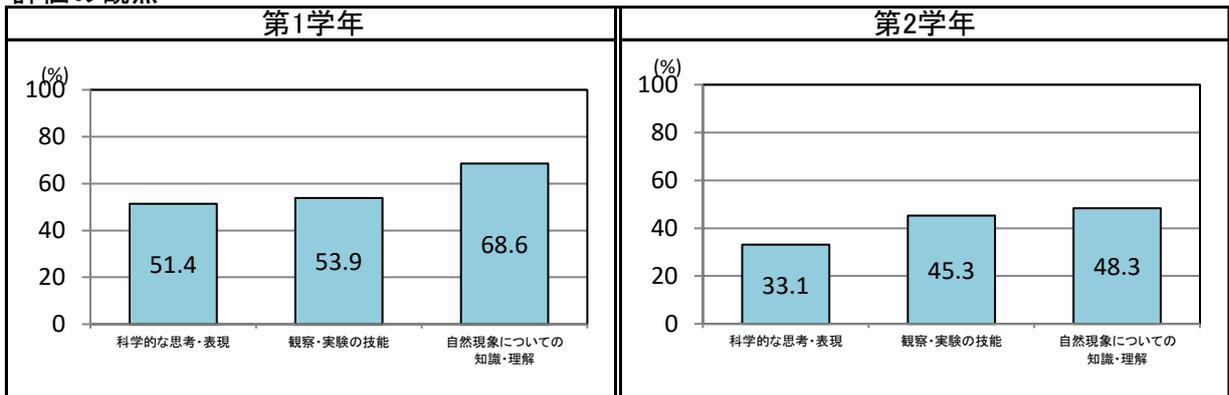
正答率分布の状況



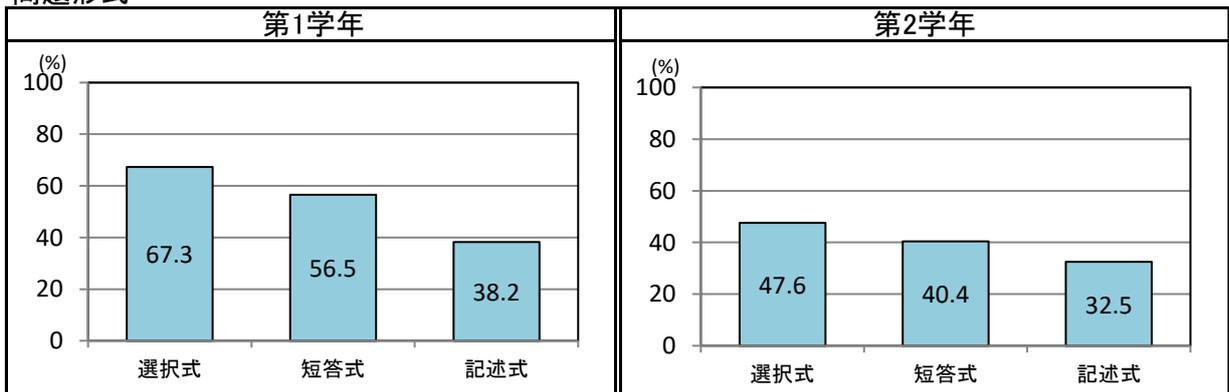
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式





成果・改善が見られる問題

第1学年

正答率 39.1%

■問題番号 6 (2)

■問題の内容

再結晶した硝酸カリウムの質量を書く。

■出題のねらい

実験結果を基に、再結晶した硝酸カリウムの質量を求めることができる。

第2学年

正答率 42.6%

■問題番号 6 (3)

■問題の内容

試験管の中に未反応の炭素が残っていることを説明する。

■出題のねらい

他者の考えを検討して改善し、実験の結果のグラフと表から、試験管の中での現象を説明できる。

ポイント

結果を分析して解釈する指導の充実

○分析・考察

実験の結果の表やグラフを比較して、分析・解釈することに改善の傾向が見られる。このことから、結果（事実）と考察（結果から分かること）を区別し、課題に正対した考察を意識した指導がなされていることがうかがえる。

○学習指導に当たって

分析して解釈するためには、結果を事実と捉え、その結果を根拠に考察することが重要である。また、仮説を設定した際に結果の見通しをもったうえで観察、実験を行い、仮説、結果の見通し、結果を踏まえて考察を導き出す場面の設定が必要である。

例えば、第2学年6 (3) では

・実験前：「一定量の酸化銅に対して、炭素を加えれば加えるだけ、多くの銅が還元されるのか」または、「炭素も一定量以上加えると反応がなくなるのか」といった見通しをもつ。

・実験後：実験結果を実験前の見通しと比較し、課題に対する答えとなるよう考察を考える。

というように、常に“見通し”と“振り返り”を行いながら、課題を解決していく（探究する）ことができるよう指導をすることが効果的である。



課題が見られる問題

第1学年

正答率 33.5%

■問題番号 8 (2)

■問題の内容

蘭引の冷たい水のはたらきを書く。

■出題のねらい

実験の目的を理解し、冷たい水のはたらきを説明できる。

第2学年

正答率 22.8%

■問題番号 8 (1)

■問題の内容

熟した後のバナナに糖ができていどうかを調べる実験と、その結果の見通しを書く。

■出題のねらい

熟した後のバナナに糖ができていどうかを調べる実験を計画し、結果の見通しをもつことができる。

ポイント

仮説の設定や検証計画の立案をする指導の改善

○分析・考察

何を検証するための実験なのか、そのために必要な試薬や方法等は何であるかといった“目的意識”をもった探究的な活動と、検証実験における“見通し”をもった探究的な活動に課題が見られる。このことから、仮説を設定したり、検証計画を立案したりする学習活動が十分でないことが考えられる。

○学習指導に当たって

“見通し”をもって学習に取り組ませるためには、単元を貫く課題や、見いだした問題から解決可能な課題を設定するなど、生徒が何を解決していくのかをしっかりと理解する学習指導が必要である。また、課題に対して仮説を設定し、実証するための観察、実験を行うことも必要である。

例えば、第2学年8 (1) では、「熟れる前のバナナと熟れた後のバナナのデンプンには、ちがいがあるのだろうか。」という課題に対して、「熟れる前のバナナのデンプンは、熟れた後には糖に変わるので、ちがいがある。」という仮説を設定し、「糖に変わっていることを実証するためには、熟れた後のバナナに糖があることを示す試薬を使用するとよい。」という検証計画を立案する活動を充実することが効果的である。

令和2年度高知県学力定着状況調査 設問別正答率 [中学校理科1年]

問題番号	大問	小問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領との関連				評価の観点		問題形式		高知県	
					エネルギー	粒子	生命	地球	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	選択式	短答式	記述式
1		(1)	顕微鏡の対物レンズの倍率と正しいピントの合わせ方を選ぶ。	観察器具(顕微鏡)の扱い方を身に付けている。			○		○	○			56.1	0.1
2	1	(2)	顕微鏡の倍率を求める。	観察器具(顕微鏡)の扱い方を身に付けている。			○		○		○		44.0	2.0
3		(3)	プレパラートをつくるとき、カバーガラスをはしからゆくりと下げるようにする理由を選ぶ。	観察器具(顕微鏡)の扱い方を身に付けている。			○		○				94.2	0.2
4		(1)	花を動かさずにルーペを使って観察する方法を選ぶ。	観察器具(ルーペ)の扱い方を身に付けている。			○		○				46.8	0.2
5	2	(2)	種子をつくる植物の名称を書く。	種子をつくる植物を、「種子植物」ということを理解している。			○		○				89.6	1.9
6		(3)	チューリップの外側の花弁に見える部分の名称を書く。	調べたこと、他者の考えを関連付けて、花のつくりを考察することができる。			○	○					49.8	12.8
7		(1)	種子をつくらぬ植物がふえるときにつくるものの名称と、コケ植物の根のようなものの名称を選ぶ。	シダ植物とコケ植物の特徴について理解している。			○		○	○			67.1	0.2
8	3	(2)	イヌワラビのなかまを選ぶ。	シダ植物に分類される植物を選ぶことができる。			○		○	○			63.3	0.4
9		(3)	被子植物の花が目立つ色や形をしている理由を書く。	被子植物の花が目立つ色や形をし、昆虫や鳥などの動物を引きつけている理由を説明できる。			○	○				○	41.2	9.6
10		(1)	背骨のある動物の名称を書く。	セキツイ動物について理解している。			○		○				83.7	3.6
11		(2)	体温を一定に保つことができる動物の名称を書く。	恒温動物について理解している。			○		○				61.2	8.2
12	4	(3)	両生類の呼吸のしかたを選ぶ。	両生類の呼吸のしかたを理解している。			○		○	○			86.4	0.2
13		(4)	トカゲのなかまの産卵場所と卵の特徴を選ぶ。	ハチュウ類の産卵場所と卵の特徴を理解している。			○		○				66.6	0.4
14		(5)	節足動物ではない動物を選ぶ。	節足動物の特徴を理解している。			○		○	○			82.4	0.3
15		①	アンモニアを発生させるときに用いる物質を選ぶ。	アンモニアを発生させるために用いる物質を指摘できる。			○		○				57.2	0.3
16	5	②	アンモニアの性質を選ぶ。	アンモニアの性質を理解している。			○		○	○			72.7	0.5
17		(2)	以前、飛行船に使われていた気体を書く。	気体が可燃性であるということと空気に対する密度に着目して、水素であることを推測できる。			○		○				68.7	4.1
18		(1)	硝酸カリウム水溶液の溶媒を書く。	硝酸カリウム水溶液の溶媒を理解している。			○		○				50.2	15.3
19	6	(2)	再結晶した硝酸カリウムの質量を書く。	実験結果を基に、再結晶した硝酸カリウムの質量を求めることができる。			○		○				39.1	6.5
20		(3)	水溶液を冷やして溶質をとり出す方法の名称を書く。	再結晶について理解している。			○		○				70.4	8.3
21	7	(1)	加熱した時間とパルミチン酸の温度の関係をグラフで表す。	加熱した時間とパルミチン酸の温度の関係をグラフに表すことができる。			○		○				25.1	3.0
22		(2)	固体から液体になるときの粒子のようすを選ぶ。	固体から液体になるときの粒子のようすを理解している。			○		○	○			58.5	1.0
23		(1)	蒸留によって集めた液体にふくまれる水の割合を選ぶ。	蒸留によって混合物から純粋な物質を取り出す実験の結果を考察することができる。			○		○				60.4	1.0
24	8	(2)	蘭引の冷たい水のはたらきを書く。	実験の目的を理解し、冷たい水のはたらきを説明できる。			○		○			○	33.5	15.5
25		(3)	蒸留は物質の沸点のちがいを利用していることを書く。	蒸留は物質の沸点のちがいを利用していることを理解している。			○		○				39.3	13.5
26		(1)	分別の基準を捉え、有機物と無機物を分ける性質を選ぶ。	分別の基準が有機物かどうかであることを捉え、有機物の特徴を指摘できる。			○		○				81.5	1.0
27	9	(2)	ジュースの容器が何でできているのかを選ぶ。	密度を求める実験の結果を基に、ジュースの容器が何でできているのかを推測できる。			○		○				48.7	1.4
28		(3)	スチール缶とアルミ缶を分けるために利用する、鉄の性質を書く。	スチール缶とアルミ缶を分けるために利用する、鉄の性質を説明できる。			○		○				40.0	15.6

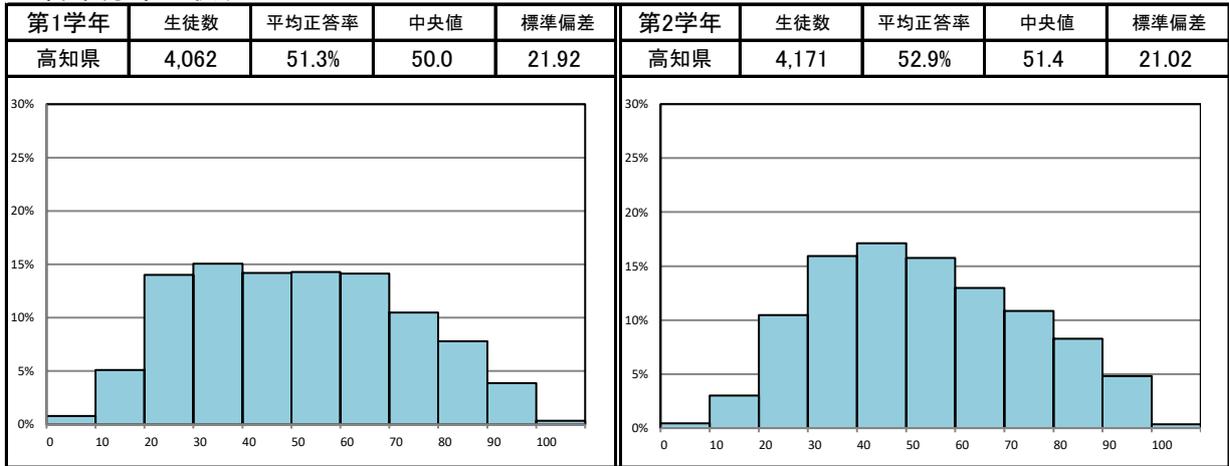
令和2年度高知県学力定着状況調査 設問別正答率 [中学校理科2年]

問題番号	大問	小問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領との関連				評価の観点			問題形式			高知県	
					エネルギー	粒子	生命	地球	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然現象についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)
1		(1)	マグマのねばりけから、火山灰にふくまれる粒の特徴を選ぶ。	マグマのねばりけから、火山灰にふくまれる粒の特徴を推測できる。				○	○			○			32.0	0.1
2	1	①	岩石に見られる形がわからないほどの小さな鉱物の集まりの名称を書く。	火山岩の組織について理解している。				○				○			24.6	18.9
		(2)	② 岩石のつくりから、岩石のでき方を選ぶ。	岩石のつくりから、岩石のでき方を推測できる。				○	○			○			44.0	0.2
4		(1)	れき岩の粒がまるみを帯びている理由を書く。	れき岩の粒がまるみを帯びている理由を説明できる。				○	○				○		32.2	17.1
5	2	(2)	石灰岩を特定する方法を選ぶ。	石灰岩と特定するために用いる物質を指摘できる。				○	○			○			63.3	0.2
6		(3)	地層が堆積した当時の環境を知ることができる化石の名称を書く。	示相化石について理解している。				○				○			31.9	17.1
7		(1)	地震のゆれの伝わり方を選ぶ。	地震のゆれについて理解している。				○				○	○		75.6	0.1
8		(2)	地震が発生した時刻を選ぶ。	地震計の記録を基に、地震が発生した時刻を求めることができる。				○	○			○			27.6	0.2
9		(1)	水の電気分解で適切でない方法を選ぶ。	水の電気分解を行う際の正しい技能を身に付けている。				○				○			61.4	0.2
10	4	(2)	陰極から発生した気体の名称を書く。	発生した気体にマッチの火を近づけた実験の結果を基に、水素が生じたことを推測できる。				○		○			○		59.4	5.8
11		(3)	有機物の分子に含まれている原子の記号を書く。	有機物の分子を構成する原子を推測できる。				○		○			○		26.2	11.5
12		(1)	酸化銀の分解で発生する気体を確かめる方法を選ぶ。	酸化銀の分解で発生した気体が酸素であると特定する方法を指摘できる。				○			○		○		77.2	0.1
13	5	(2)	酸化銀の分解でできた固体の性質を選ぶ。	酸化銀の分解でできた固体の性質について理解している。				○			○	○			22.2	0.4
14		(3)	分解によって起こる現象を選ぶ。	分解によって起こる現象を選ぶことができる。				○			○	○			53.1	0.6
15		(1)	気体の発生が終わったあと、ゴム管をピンチコックでとめる理由を選ぶ。	実験の目的を考えて、その操作をする理由を選ぶことができる。				○			○		○		31.4	0.3
16	6	(2)	加熱後の物質の質量が、加熱前の物質の質量より軽くなっている理由を書く。	加熱後の物質の質量が、加熱前の物質の質量より軽くなっている理由を考えることができる。				○		○			○		31.7	9.8
17		(3)	試験管の中に未反応の炭素が残っていることを説明する。	他者の考えを検討して改善し、実験の結果のグラフと表から、試験管の中での現象を説明できる。				○		○			○		42.6	23.5
18		(1)	顕微鏡の使い方を選ぶ。	観察器具(顕微鏡)の扱い方を身に付けている。				○			○		○		25.6	0.4
19	7	(2)	細胞を観察するとき用いる染色液を選ぶ。	細胞を観察するとき用いる試薬を理解している。				○			○		○		59.8	0.7
20		(3)	ヒトの細胞でも植物の細胞でも見られるつくりを書く。	動物と植物の細胞に共通するつくりを理解している。				○			○		○		42.9	10.7
21		(1)	熟した後のバナナに糖ができていかどうかを調べる実験と、その結果の見直しを書く。	熟した後のバナナに糖ができていかどうかを調べる実験を計画し、結果の見直しをもつことができる。				○		○			○		22.8	10.8
22	8	①	デンプンを分解する消化酵素をふくむ消化液の名称を書く。	消化酵素をふくむ消化液について理解している。				○			○		○		45.9	12.3
		(2)	② デンプンの消化を粒子モデルで表したものを選ぶ。	デンプンの消化を粒子モデルで表したものを選ぶことができる。				○			○	○			37.0	1.3
24		(1)	背骨がない動物の名称を書く。	無セキツイ動物について理解している。				○			○		○		84.6	2.5
25	9	(2)	鳥類とハチュウ類を分類する特徴を選ぶ。	セキツイ動物の呼吸の仕方について理解している。				○			○	○			32.9	0.5
26		(3)	体温を一定に保つことができる動物を選ぶ。	恒温動物について理解している。				○			○	○			67.3	0.6
27		(1)	おもりをつるしたときの、おもりにはたらく重力を表している図を選ぶ。	矢印を使った重力の表し方を理解している。				○			○	○			50.8	0.7
28	10	(2)	力の大きさとばねののびの関係のグラフを書く。	実験の結果をグラフ化し、適切な測定値の処理の仕方を身に付けている。				○			○		○		16.0	11.2

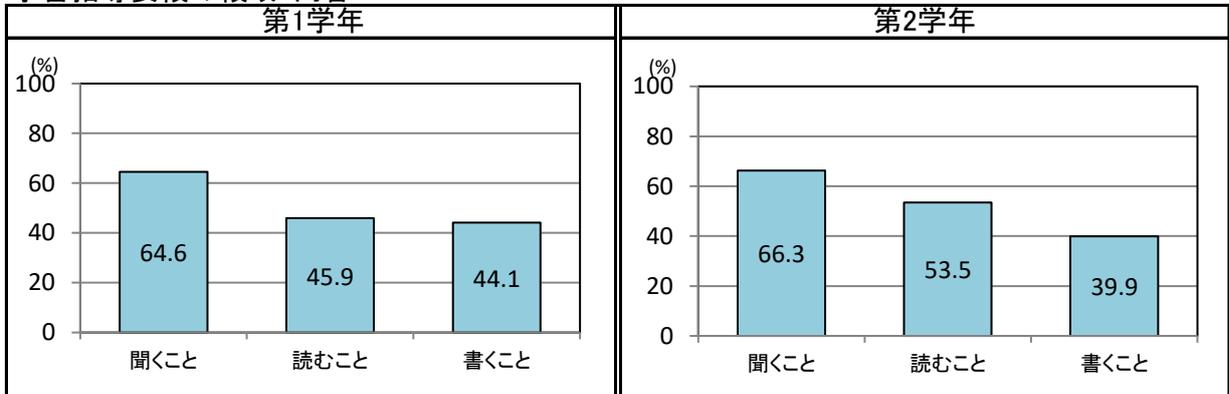


【分類・区別の状況】

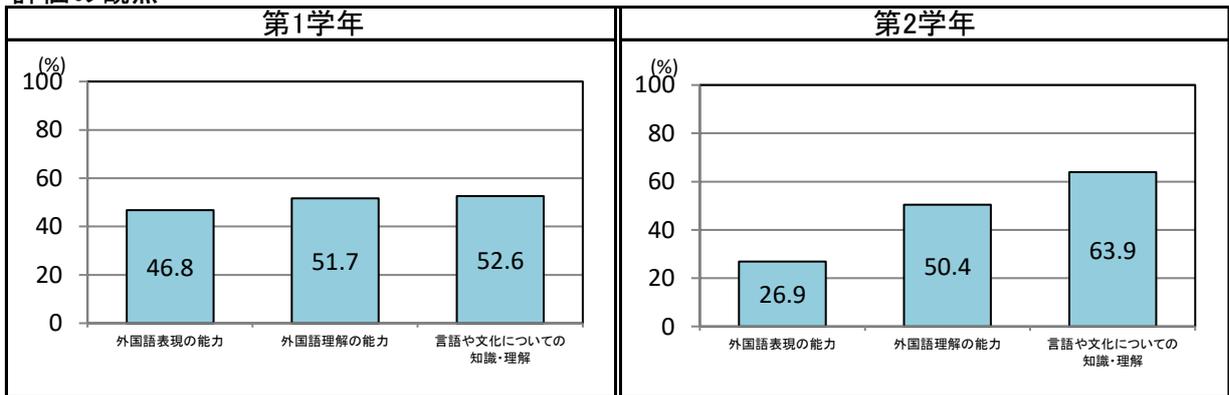
正答率分布の状況



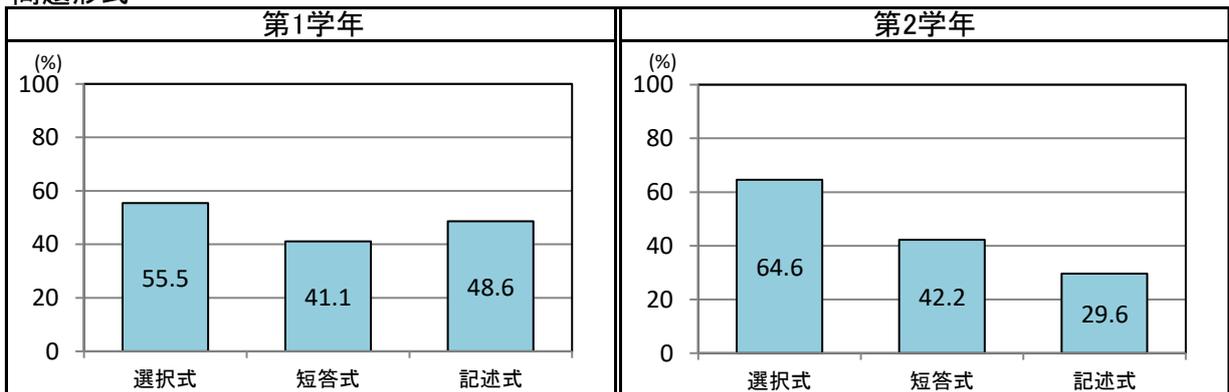
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式





成果・改善が見られる問題

第1学年

正答率 90.3%

■問題番号 ① (2)

■問題の内容

英文 (My sister plays the piano, but she doesn't play the violin.) を聞き取り、適切なものを選ぶ。

■出題のねらい

英語 (モノログ) を聞いて、基本的な英語の音声の特徴を捉え、情報を正確に聞き取ることができる。(動作)

第2学年

正答率 90.5%

■問題番号 ① (1)

■問題の内容

英文 (It is Wednesday today. We have English, math, science and music.) を聞き取り、適切なものを選ぶ。

■出題のねらい

英語 (モノログ) を聞いて、基本的な英語の音声の特徴を捉え、情報を正確に聞き取ることができる。(曜日と教科名)



英語でのコミュニケーション能力の育成

○分析・考察

日常的な話題について、情報を正確に聞き取ったり、基本的な表現を理解して、正しく応答したりする力に改善傾向が見られる。このことから、1回聞いて分からなければ「Could you say that again?」と依頼したり、聞き取ることができなかった部分を質問したりする活動が繰り返し行われていることがうかがえる。

○学習指導に当たって

聞き手として必要な情報を聞き取るためには、聞こえてくる全ての情報を聞き取るのではなく、目的や場面、状況に応じて、自分が必要とする情報を中心に聞き取ることが大切である。例えば、「地元の特産品を紹介する」という目的を明らかにすることで、「特産品のよさは何か」「旬の季節はいつか」などの問いを生徒自身がもつようになり、多くの情報の中から“good reasons”や“best season”に着目して聞こうとするようになる。また、聞き取ったことを理解して、正しく応答するためには、相手の言った単語や言い回しを繰り返して確認するなど、双方向でのやり取りを指導することも必要である。



課題が見られる問題

第1学年

正答率 31.7%

■問題番号 ⑨ (2)

■問題の内容

対話文の内容を読み取り、毎日ギターを練習しますという内容の文を、適切に書く。

■出題のねらい

語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くことができる。(一般動詞の文を書く)

第2学年

正答率 11.5%

■問題番号 ⑨ (2)

■問題の内容

対話文の内容を読み取り、どのようにして来るのかという内容の文を、適切に書く。

■出題のねらい

語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くことができる。(howを使って交通手段をたずねる文を書く)



相手意識・目的意識を明確にした言語活動の充実

○分析・考察

コミュニケーションを行う目的や場面、文脈等から文の形式や動詞の形（時制）を適切に判断し、正確に書くことに課題が見られる。このことから、特定の言語材料のみを用いて文章を書かせたり、一文のみを示して空欄の動詞の形を変えさせるなどの指導が行われ、目的・場面・状況に必然性をもたせた言語活動が十分でないことが考えられる。

○学習指導に当たって

対話文の概要を捉えるためには、一文一文の解釈ではなく、文全体のおおまかな流れを把握することが大切である。そのため、簡単な語句や文で書かれた短い文章は独力で初読し、段落ごとにタイトルを付けるなどの活動をくり返すことが効果的であると考えられる。また、目的に応じて使うべき言語材料を生徒自身が考えるためには、「現在進行形を用いて書きましょう」ではなく、「ALTに自分たちの学校を紹介しよう」等、具体的に課題を設定し、文法事項と言語活動を効果的に関連付けて指導することが大切である。さらに、伝えたい内容を正確に読み手に伝えるためには、生徒自身が読み直して誤りに気付き、修正を加えながら正確さを高める活動や、生徒同士で書いたものを読み合い、「What are your reasons?」と内容について質問したり、「That's a good idea.」とコメントを述べたりする活動も必要である。

令和2年度高知県学力定着状況調査 設問別正答率 [中学校外国語(英語)1年]

問題番号	大問	中問	小問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領との関連			評価の観点			問題形式		高知県		
						聞くこと	読むこと	書くこと	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)
1				(1) 英文(Ken's birthday is September 15.)を聞き取り、適切なものを選ぶ。	英語(モノローグ)を聞いて、基本的な英語の音声の特徴を捉え、情報を正確に聞き取ることができる。(日付)	○			○	○				78.7	0.3	
				(2) 英文(My sister plays the piano, but she doesn't play the violin.)を聞き取り、適切なものを選ぶ。	英語(モノローグ)を聞いて、基本的な英語の音声の特徴を捉え、情報を正確に聞き取ることができる。(動作)	○			○	○				90.3	0.3	
				(3) 英文(This is my black bag, and that is Jane's white bag.)を聞き取り、適切なものを選ぶ。	英語(モノローグ)を聞いて、基本的な英語の音声の特徴を捉え、情報を正確に聞き取ることができる。(バッグの位置、色、持ち主)	○			○	○				65.1	0.4	
				(4) 英文(On Sunday I eat lunch with my family at twelve thirty.)を聞き取り、適切なものを選ぶ。	英語(モノローグ)を聞いて、基本的な英語の音声の特徴を捉え、情報を正確に聞き取ることができる。(曜日、時刻)	○			○	○				55.5	0.6	
5	2		(1) 対話を聞いて、適切に応じているもの(I don't like cats. I like dogs.)を選ぶ。	質問や依頼などの対話(ダイアログ)を聞いて、適切に応じていることができる。(「あなたはどうか」とたずねられて)	○			○	○				72.9	0.4		
			(2) 対話を聞いて、適切に応じているもの(At five o'clock.)を選ぶ。	質問や依頼などの対話(ダイアログ)を聞いて、適切に応じていることができる。(起床の時刻をたずねられて)	○			○	○				37.7	0.4		
			(3) 対話を聞いて、適切に応じているもの(I play it every Saturday.)を選ぶ。	質問や依頼などの対話(ダイアログ)を聞いて、適切に応じていることができる。(「いつサッカーをするか」とたずねられて)	○			○	○				50.1	0.5		
9	3		(1) スピーチの中 <small>の</small> And he sings well.>を聞き取り、適切なものを選ぶ。	まとまりのある英文の概要や要点を適切に聞き取ることができる。(得意なこと)	○			○	○				63.1	0.2		
			(2) スピーチの中 <small>の</small> And his mother is an English teacher.>を聞き取り、適切なものを選ぶ。	まとまりのある英文の概要や要点を適切に聞き取ることができる。(職業)	○			○	○				73.1	0.4		
			(3) スピーチの中 <small>の</small> Masahiro and I play soccer every Friday and Sunday.>を聞き取り、適切なものを選ぶ。	まとまりのある英文の概要や要点を適切に聞き取ることができる。(何曜日にサッカーをするか)	○			○	○				66.3	0.6		
11	4			対話を聞いて、資料を基に適切な英文を書く。	対話(ダイアログ)の内容を聞き取り、資料を基に適切に応じることができる。	○			○		○		57.8	10.2		
12	5			① 対話文に入る適切な語句(Do)を選ぶ。	「読むこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付けている。(主語が複数あるときの一般動詞の疑問文)		○			○	○			13.6	0.4	
				② 対話文に入る適切な語句(on)を選ぶ。	「読むこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付けている。(前置詞on)		○			○	○			79.1	0.3	
				③ 対話文に入る適切な語句(Use)を選ぶ。	「読むこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付けている。(命令文)		○			○	○			48.7	1.0	
				④ 対話文に入る適切な語句(has)を選ぶ。	「読むこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付けている。(主語が三人称単数の一般動詞の用法)		○			○	○			54.4	4.9	
16				(1) 対話文に入る適切な語句(girl)を書く。	「書くこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付け、単語を正しく書くことができる。(少女)		○			○	○			37.9	11.8	
				(2) 対話文に入る適切な語句(run)を書く。	「書くこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付け、単語を正しく書くことができる。(走る)		○			○	○			28.4	21.2	
18	6			(1) メールの内容を読み取り、その返信として適切なものを選ぶ。	電子メールなどの文章から書き手の意向を理解し、適切に応じることができる。		○			○	○			46.0	0.5	
				(2) 英文の内容を読み取り、時間割を基に、その応答として最も適切なものを選ぶ。	日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる。		○			○	○			54.6	0.9	
				(3) グラフを基にした対話文を読み取り、その内容に合う適切な語句を選ぶ。	日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる。		○			○	○			54.6	0.7	
21				(2) グラフを基にした対話文を読み取り、その内容に合う適切なものを選ぶ。	日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる。		○			○	○			37.7	1.2	
22	7			(1) コウジのスピーチを読んで、その内容として適切なものを選ぶ。	まとまりのある文章を読んで、大切な部分などを正確に読み取ることができる。		○			○	○			35.3	0.6	
				(2) コウジのスピーチを読んで、その内容として適切なものを選ぶ。	まとまりのある文章を読んで、大切な部分などを正確に読み取ることができる。		○			○	○			43.3	0.8	
				(3) コウジのスピーチを読んで、コウジがスピーチで伝えなかったこととして適切なものを選ぶ。	まとまりのある文章を読んで、話の概要や要点を読み取ることができる。		○			○	○			46.0	1.4	
				(4) コウジとスミス先生の会話の内容を踏まえた語句(go to)を書く。	話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方を捉えることができる。		○			○	○			36.9	23.1	
26	8			(1) <he does not practice it>の文の構成を理解し、正しい語順に並べて書く。	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くことができる。(三人称単数の否定文)			○			○	○			21.2	5.7
				(2) <How many caps do you have>の文の構成を理解し、正しい語順に並べて書く。	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くことができる。(疑問詞how manyを用いた文の語順)			○			○	○			48.8	5.1
				(3) <What food do you like>の文の構成を理解し、正しい語順に並べて書く。	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くことができる。(what+名詞)で始まる疑問文)			○			○	○			43.1	5.0
				(4) <Do you have any sisters>の文の構成を理解し、正しい語順に並べて書く。	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くことができる。(anyを使った一般動詞の疑問文)			○			○	○			71.5	5.5
30	9			(1) 対話文の内容を読み取り、何時ですかという内容の文を、適切に書く。	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くことができる。(時刻をたずねる文を書く)		○	○				○	36.1	23.1		
				(2) 対話文の内容を読み取り、毎日ギターを練習しますという内容の文を、適切に書く。	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くことができる。(一般動詞の文を書く)		○	○				○	31.7	26.4		
32	10			第1文に、I have!に続けて、自分の持っている物の中で気に入っている物の名前を書く。	与えられたテーマについて自分の考えや気持ちなどを整理し、読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くことができる。		○	○				○	71.5	16.4		
				いずれかの文に、自分の持っている物の中で気に入っている物について説明する文を書く。	与えられたテーマについて自分の考えや気持ちなどを整理し、読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くことができる。		○	○				○	56.8	16.4		
				テーマによって、自分の持っている物の中で気に入っている物について15語以上で書く。	与えられたテーマについて自分の考えや気持ちなどを整理し、読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くことができる。		○	○				○	37.9	16.4		

令和2年度高知県学力定着状況調査 設問別正答率 [中学校外国語(英語)2年]

問題番号	大問	中問	小問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領との関連			評価の観点		問題形式			高知県	
						聞くこと	読むこと	書くこと	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)
1		(1)		英文 (It is Wednesday today. We have English, math, science and music.)を聞き取り, 適切なものを選ぶ。	英語(モノローグ)を聞いて, 基本的な英語の音声の特徴を捉え, 情報を正確に聞き取ることができる。(曜日と教科名)	○				○	○			90.5	0.1
2		(2)		英文 (It is raining now. I'm watching a baseball game on TV at home.)を聞き取り, 適切なものを選ぶ。	英語(モノローグ)を聞いて, 基本的な英語の音声の特徴を捉え, 情報を正確に聞き取ることができる。(天気と動作)	○				○	○			88.2	0.1
3	1	(3)		英文 (I went to the department store with my sister. I bought a bag with a picture of a dog.)を聞き取り, 適切なものを選ぶ。	英語(モノローグ)を聞いて, 基本的な英語の音声の特徴を捉え, 情報を正確に聞き取ることができる。(動作と物)	○				○	○			84.0	0.2
4		(4)		英文 (In my class, seventeen students walk to school. Seven students come by train, and eight students come by bus.)を聞き取り, 適切なものを選ぶ。	英語(モノローグ)を聞いて, 基本的な英語の音声の特徴を捉え, 情報を正確に聞き取ることができる。(数と通学手段)	○				○	○			77.2	0.2
5		(1)		対話を聞いて, 適切に応じているもの (To watch birds.)を選ぶ。	質問や依頼などの対話(ダイアログ)を聞いて, 適切に応じていることができる。(なぜそこに行ったのかをたずねられて)	○				○	○			32.2	0.3
6	2	(2)		対話を聞いて, 適切に応じているもの (OK. I'll help you.)を選ぶ。	質問や依頼などの対話(ダイアログ)を聞いて, 適切に応じていることができる。(ラーメンを作ると言われて)	○				○	○			33.2	0.4
7		(3)		対話を聞いて, 適切に応じているもの (I go to school by bus.)を選ぶ。	質問や依頼などの対話(ダイアログ)を聞いて, 適切に応じていることができる。(どのようにして学校へ行くのかをたずねられて)	○				○	○			74.6	0.2
8		(1)		スピーチの中の <Please talk to me in Japanese.>を聞き取り, 適切なものを選ぶ。	まとまりのある英文の概要や要点を適切に聞き取ることができる。(自分にしてほしいこと)	○				○	○			66.0	0.2
9	3	(2)		スピーチの中の <When I was in Australia, I was a member of the basketball team.>を聞き取り, 適切なものを選ぶ。	まとまりのある英文の概要や要点を適切に聞き取ることができる。(何に所属していたか)	○				○	○			91.9	0.2
10		(3)		スピーチの中の <I want to learn a lot of things about Japan.>を聞き取り, 適切なものを選ぶ。	まとまりのある英文の概要や要点を適切に聞き取ることができる。(最も伝えたいこと)	○				○	○			48.7	0.2
11	4			対話を聞いて, 資料を基に適切な英文を書く。	対話(ダイアログ)の内容を聞き取り, 資料を基に適切に応じていることができる。	○				○		○		42.7	13.8
12		①	(1)	対話文に入る適切な語句 (must) を選ぶ。	「読むこと」に必要な語句や表現, 文法などに関する知識を身に付けている。(助動詞)	○				○	○			73.2	0.2
13		②	(1)	対話文に入る適切な語句 (to do) を選ぶ。	「読むこと」に必要な語句や表現, 文法などに関する知識を身に付けている。(不定詞の形容詞的用法)	○				○	○			57.5	0.4
14		③	(1)	対話文に入る適切な語句 (if) を選ぶ。	「読むこと」に必要な語句や表現, 文法などに関する知識を身に付けている。(接続詞)	○				○	○			78.0	0.6
15	5	④	(1)	対話文に入る適切な語句 (What) を選ぶ。	「読むこと」に必要な語句や表現, 文法などに関する知識を身に付けている。(疑問詞)	○				○	○			66.4	2.4
16		①	(2)	対話文に入る適切な語句 (write) を書く。	「書くこと」に必要な語句や表現, 文法などに関する知識を身に付け, 単語を正しく書くことができる。(書く)		○			○	○			35.6	9.2
17		②	(2)	対話文に入る適切な語句 (stay) を書く。	「書くこと」に必要な語句や表現, 文法などに関する知識を身に付け, 単語を正しく書くことができる。(滞在する)		○			○	○			37.0	16.9
18		③	(2)	対話文に入る適切な語句 (breakfast) を書く。	「書くこと」に必要な語句や表現, 文法などに関する知識を身に付け, 単語を正しく書くことができる。(朝食)		○			○	○			33.7	14.6
19		(1)		英文の内容を読み取り, ケイトにあげた誕生日プレゼントとして適切なものを選ぶ。	日常的な話題について, 簡単な語句や文で書かれたものの内容を, 正確に読み取ることができる。					○	○			66.4	0.1
20		(2)		メールの内容を読み取り, その返信として適切なものを選ぶ。	電子メールなどの文章から書き手の意向を理解し, 適切に応じていることができる。					○	○			41.0	0.5
21	6	①	(3)	表を基にした対話文を読み取り, その内容に合う適切な語句を選ぶ。	日常的な話題について, 簡単な語句や文で書かれたものの内容を, 正確に読み取ることができる。					○	○			57.1	0.4
22		②	(3)	表を基にした対話文を読み取り, その内容に合う適切なものを選ぶ。	日常的な話題について, 簡単な語句や文で書かれたものの内容を, 正確に読み取ることができる。					○	○			51.1	0.8
23		(1)		マナのスピーチを読んで, その内容として適切なものを選ぶ。	まとまりのある文章を読んで, 大切な部分などを正確に読み取ることができる。					○	○			58.2	0.7
24		(2)		マナのスピーチを読んで, その内容を正しい順番に並びかえる。	まとまりのある文章を読んで, 話の概要や要点を読み取ることができる。					○	○			19.8	4.1
25	7	(3)		マナのスピーチを読んで, その内容として適切なものを選ぶ。	まとまりのある文章を読んで, 大切な部分などを正確に読み取ることができる。					○	○			57.3	2.6
26		(4)		木村夫人がマナに送った手紙の内容を踏まえた語句 (help him) を書く。	話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう, 書かれた内容や考え方を捉えることができる。					○	○			15.8	33.2
27		(1)		<I am going to clean my room.>の文の構成を理解し, 正しい語順に並べて書く。	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くことができる。(be going toの文)					○	○			83.8	2.9
28		(2)		<I think that Tomoko is.>の文の構成を理解し, 正しい語順に並べて書く。	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くことができる。「～だと思ふ」という文)					○	○			39.8	3.5
29		(3)		<visited Osaka to meet my friend.>の文の構成を理解し, 正しい語順に並べて書く。	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くことができる。(副詞的用法の不定詞)					○	○			39.6	4.5
30		(4)		<You must not eat lunch.>の文の構成を理解し, 正しい語順に並べて書く。	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くことができる。「～してはいけない」の文)					○	○			74.5	4.1
31	9	(1)		対話文の内容を読み取り, 何をしていたのかという内容の文を, 適切に書く。	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くことができる。(していたことをたずねる文を書く)					○	○			11.6	29.8
32		(2)		対話文の内容を読み取り, どのようにして来るのかという内容の文を, 適切に書く。	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くことができる。(howを使って交通手段をたずねる文を書く)					○	○			11.5	29.5
33				自分の学校の生徒の名前と, その人の具体的な説明する文を書く。	与えられたテーマについて自分の考えや気持ちなどを整理し, 読み手に正しく伝わるように, 文と文のつながりなどに注意して文章を書くことができる。					○	○			57.3	19.7
34	10			いずれかの文に, これからその生徒としてみたいことを説明する文を書く。	与えられたテーマについて自分の考えや気持ちなどを整理し, 読み手に正しく伝わるように, 文と文のつながりなどに注意して文章を書くことができる。					○	○			28.4	19.7
35				テーマによって, 自分の学校の生徒について25語以上で書く。	与えられたテーマについて自分の考えや気持ちなどを整理し, 読み手に正しく伝わるように, 文と文のつながりなどに注意して文章を書くことができる。					○	○			25.9	19.7

